

岡山県のがんの現状

平成26年2月4日(火)

目 次

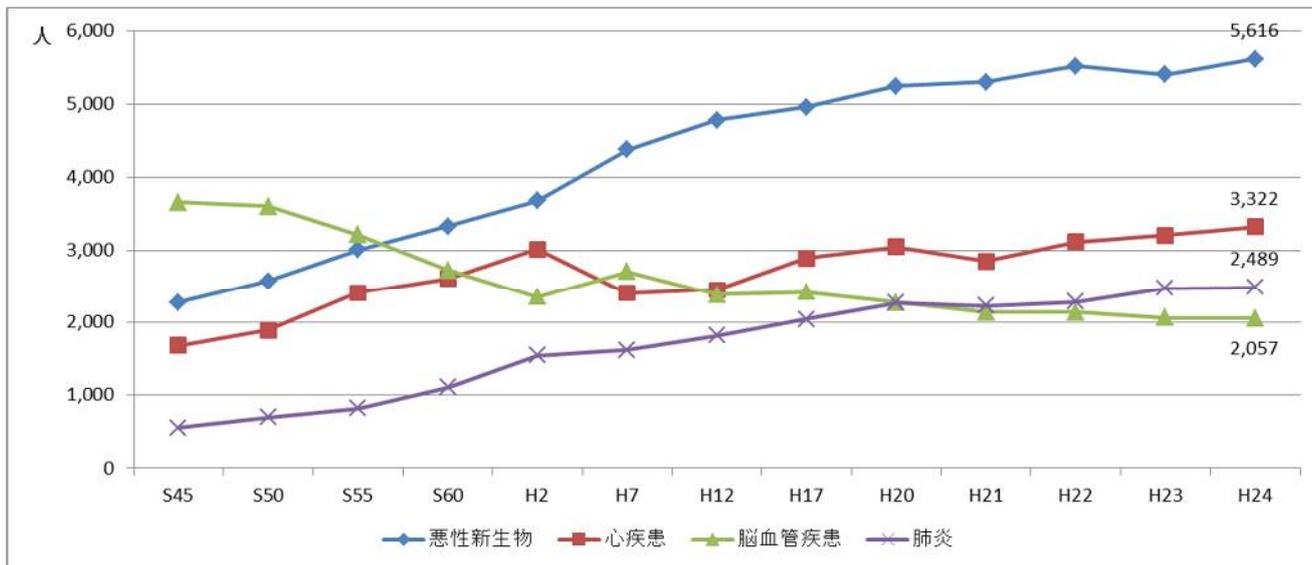
1	がんの死亡・罹患の状況	
(1)	がんによる死亡者数の推移	1
(2)	がんによる死亡の割合	1
(3)	がんの部位別死亡の状況	2
(4)	がんの年齢階級別（5歳階級）死亡者の状況	3
(5)	がんの死亡率の推移	4
(6)	がんの性別・部位別の粗死亡率	4
(7)	がんの性別・部位別年齢調整死亡率	5
(8)	がんの75歳未満年齢調整死亡率	7
(9)	がんによる在宅死亡の状況	9
(10)	がんの罹患数	10
(11)	がんの罹患率	10
(12)	小児がんの状況	12
2	がんの医療提供体制の状況	
(1)	がん治療の提供体制	14
(2)	県・地域がん診療連携拠点病院及びがん診療連携推進病院 の整備状況	15
(3)	医療機関の連携等	17
3	がんの予防の状況	18
4	がん検診の状況	
(1)	がん検診の受診率	20
(2)	がん検診の質	21
	資料（数値データ）	25

1 がんの死亡・罹患の状況

(1) がんによる死亡者数の推移

悪性新生物（がん）は、昭和 57 年以降、31 年連続で本県の死因の第 1 位となっています。平成 24 年では、がんによる死亡者数は 5,616 人となっています。

主な死因による死亡者数の推移

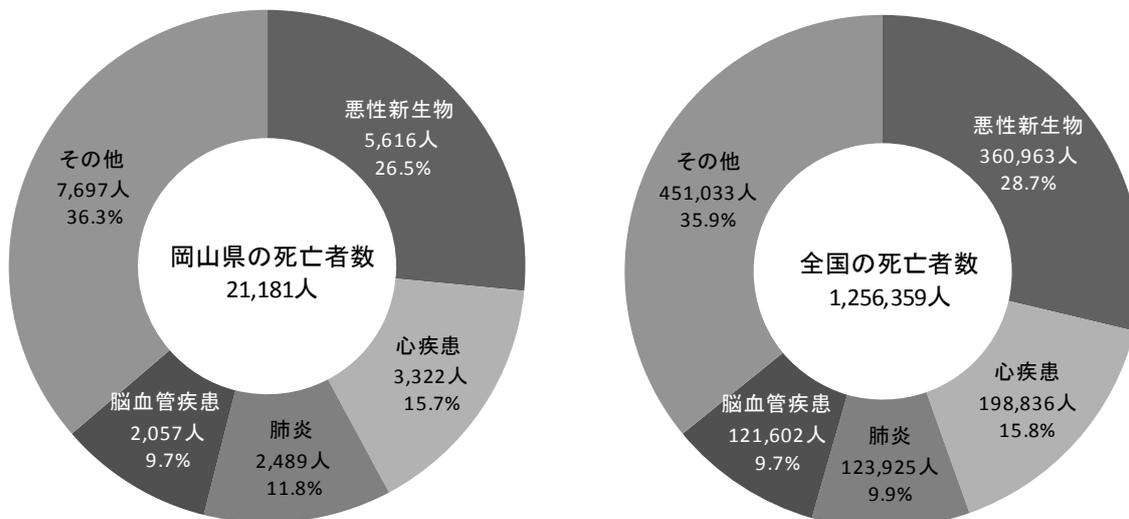


【出典：厚生労働省「平成 24 年人口動態統計」】

(2) がんによる死亡の割合

本県のがんによる死亡割合を見ると、平成 24 年は、21,181 人の死亡者のうち 26.5% ががんで亡くなっています。また、がんによる死亡者の割合は全国の 28.7% に比べ、やや低い状況です。

死亡者数及び割合（平成 24 年）



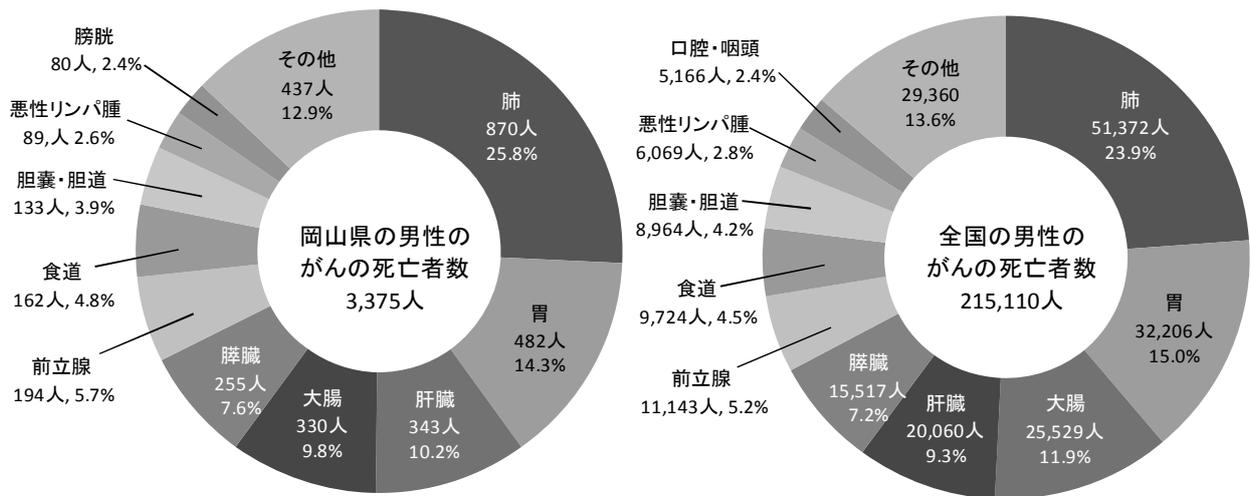
【出典：厚生労働省「平成 24 年人口動態統計」】

(3) がんの部位別死亡の状況

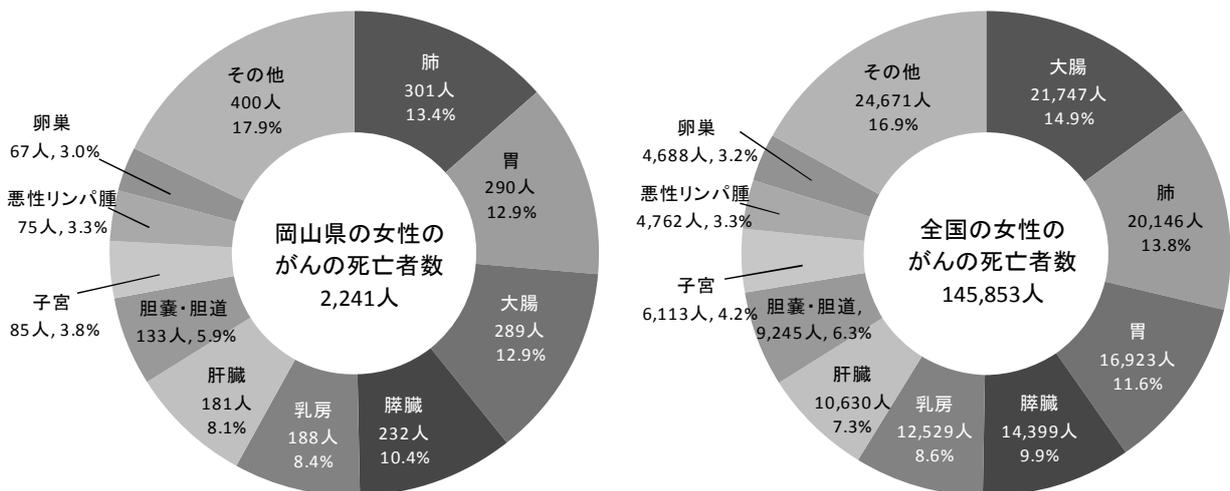
平成 24 年の本県におけるがんの死亡者数は、男性 3,375 人、女性 2,241 人と男性の方が多い状況です。

がんの部位別死亡者数を性別で見ると、男性では、「肺」「胃」「肝臓」「大腸」「膵臓」の順で多く、全国は「肺」「胃」「大腸」「肝臓」「膵臓」の順になっています。女性では、「肺」「胃」「大腸」「膵臓」「乳房」の順で多く、全国では「大腸」「肺」「胃」「膵臓」「乳房」の順になっています。

男性の部位別死亡者数及び割合（平成 24 年）



女性の部位別死亡者及び割合（平成 24 年）

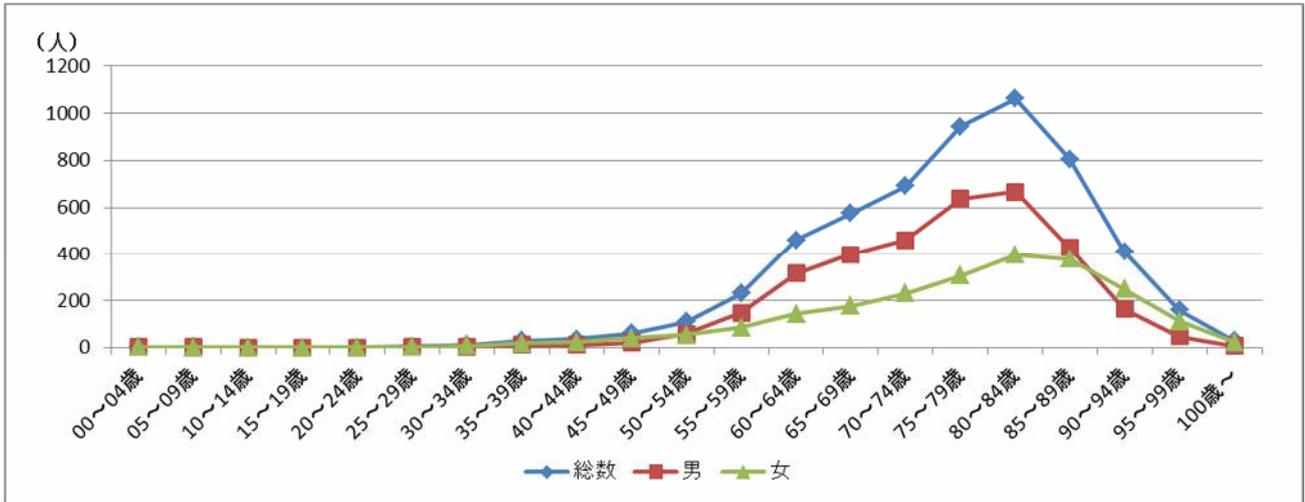


【出典：厚生労働省「平成 24 年人口動態統計」】

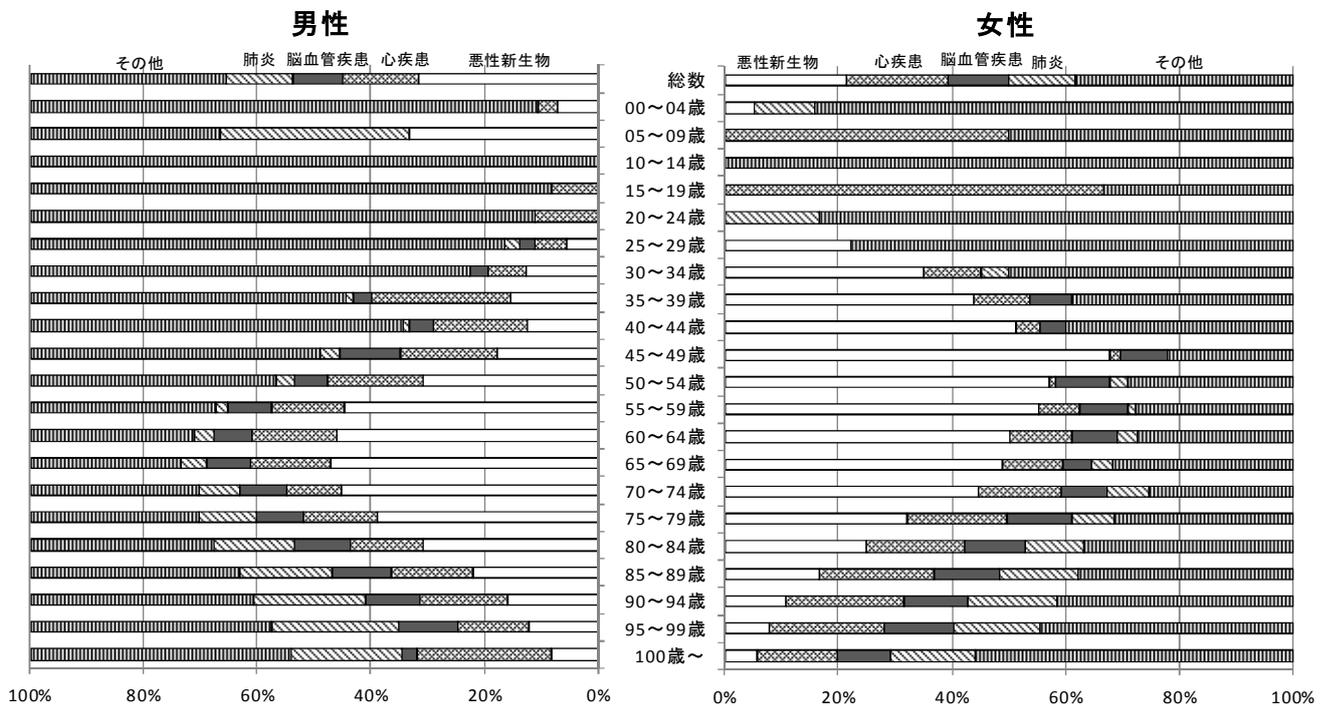
(4) がんの年齢階級別（5歳階級）死亡者の状況

がんによる年齢階級別の死亡者数は、80歳以上84歳以下が最も多くなっています。また、主な疾患等による年齢階級別死亡者の割合を性別で比較すると、男性では65歳以上69歳以下が最も高く、女性では45歳以上49歳以下が最も高くなっています。

がんによる年齢階級別死亡者数（平成24年・岡山県）



主な疾患等による年齢階級別死亡者の割合（平成24年・岡山県）



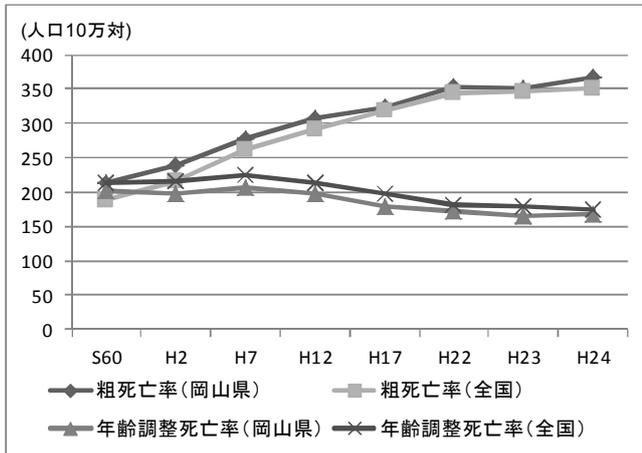
【出典：厚生労働省「平成24年人口動態統計」】

(5) がんの死亡率の推移

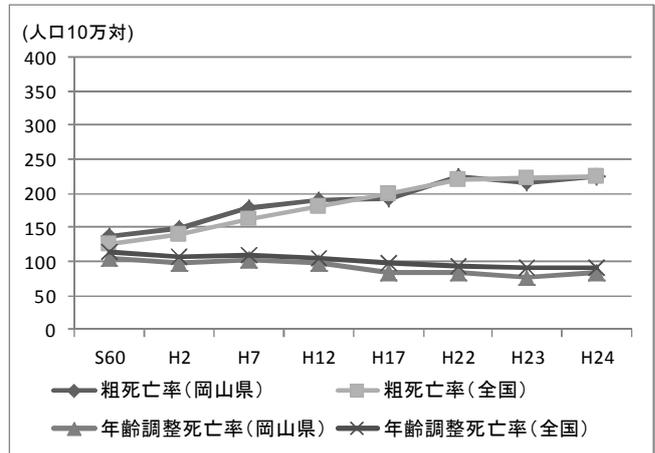
がんの死亡率（人口10万対）の推移を見ると、粗死亡率は、男女とも、また本県、全国ともに上昇傾向にあります。また、年齢調整死亡率では、本県は、男女ともに全国を下回って推移していますが、平成24年は、男女とも前年に比べやや上昇しました。

性別死亡率の推移

男性



女性



【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

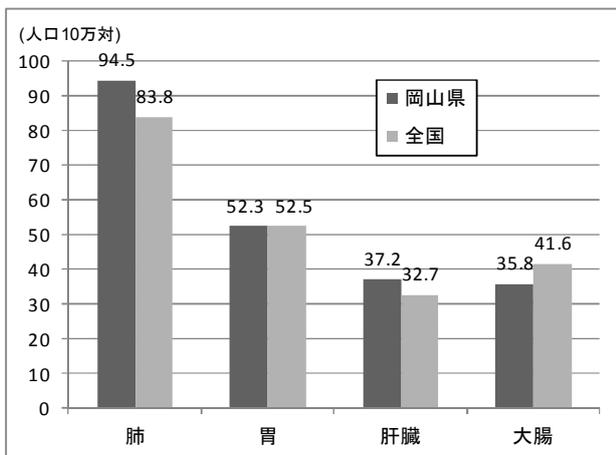
(6) がんの性別・部位別の粗死亡率

5大がん及び子宮がんの粗死亡率（人口10万対）を性別で見ると、本県では、男性は「肺」「胃」「肝臓」、女性は「肺」「胃」「大腸」の順になっています。

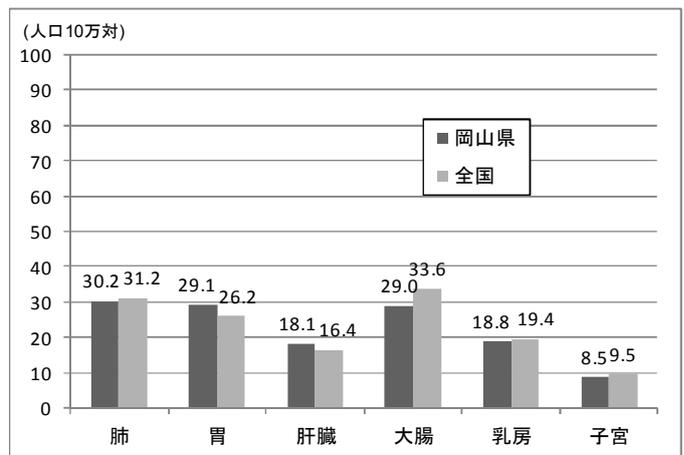
男性は「肺」「肝臓」、女性は「胃」「肝臓」が全国よりも高くなっています。

性別部位別粗死亡率（平成24年）

男性



女性



【出典：厚生労働省「平成24年人口動態統計」】

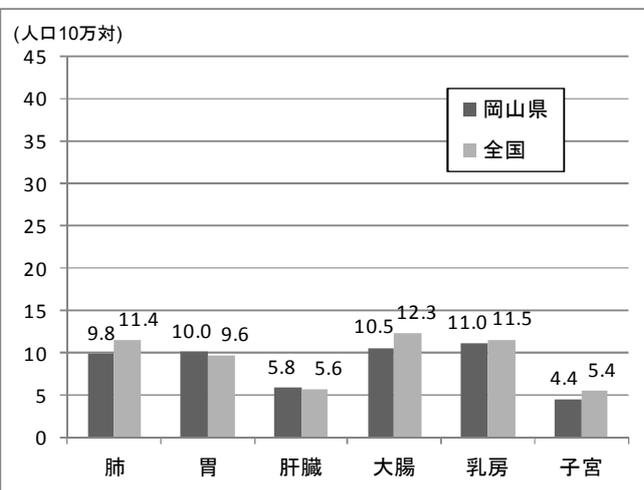
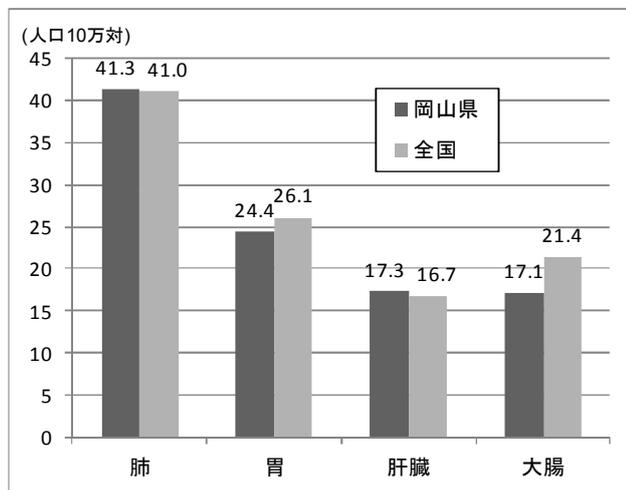
(7) がんの性別・部位別年齢調整死亡率

粗死亡率で全国よりも高い男性の「肺」「肝臓」、女性の「胃」「肝臓」は、年齢調整死亡率でも全国よりも高い状況です。

性別部位別年齢調整死亡率（平成 24 年）

男性

女性



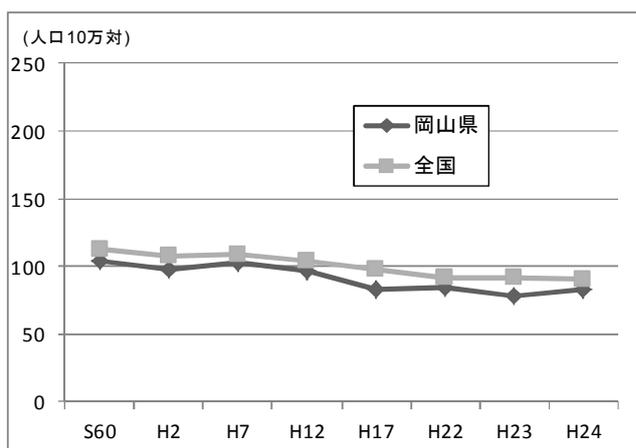
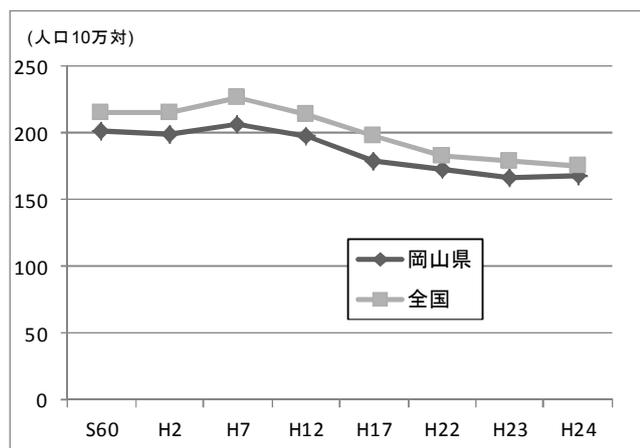
【出典：厚生労働省「平成 24 年人口動態統計」、岡山県推計】

部位別の年齢調整死亡率の推移を見ると、本県は全国とほぼ同様の傾向を示しています。男女とも、「胃」「肝臓」は低下傾向が見られます。また、「乳房」「膀胱」は上昇傾向となっています。

全がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

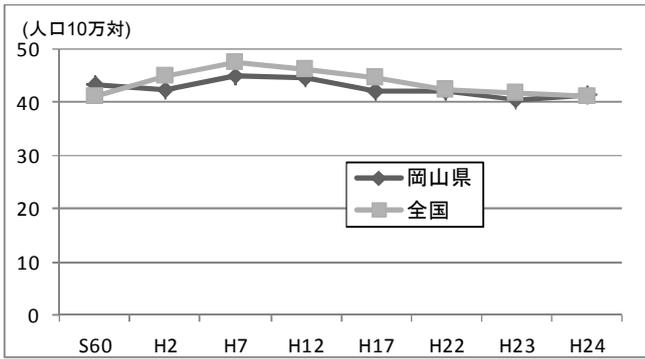
女性



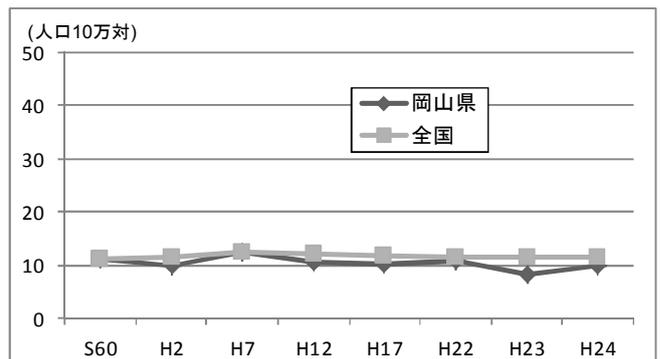
【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

肺がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

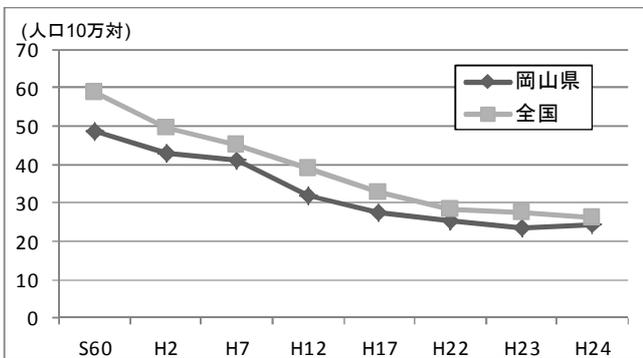


女性

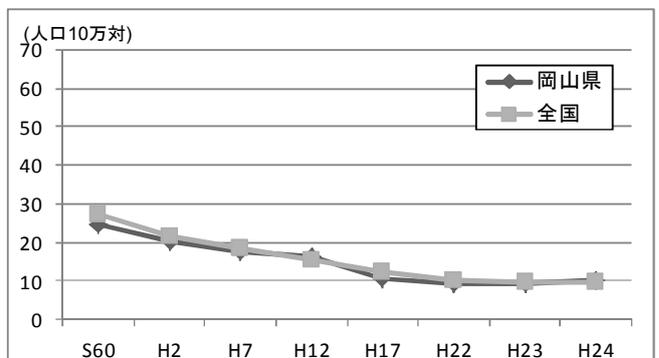


胃がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

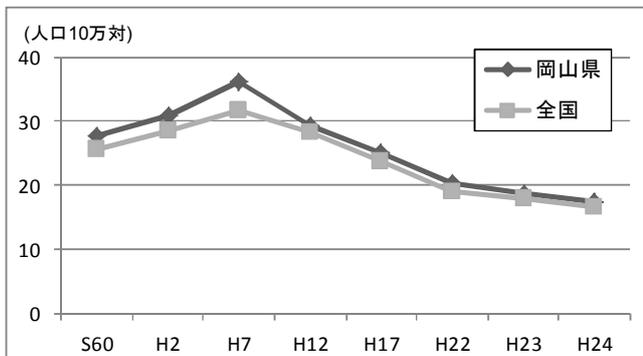


女性

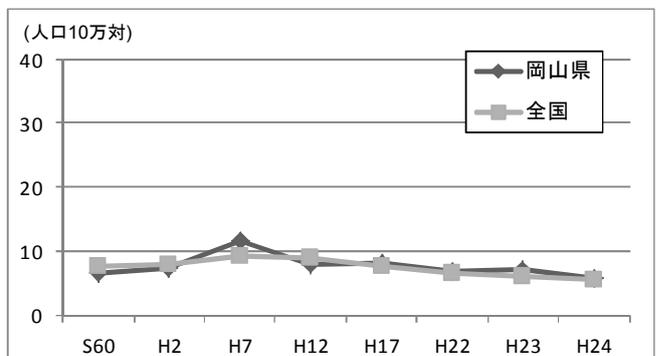


肝臓がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

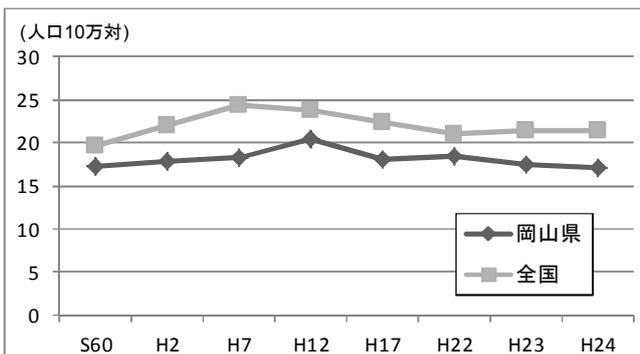


女性

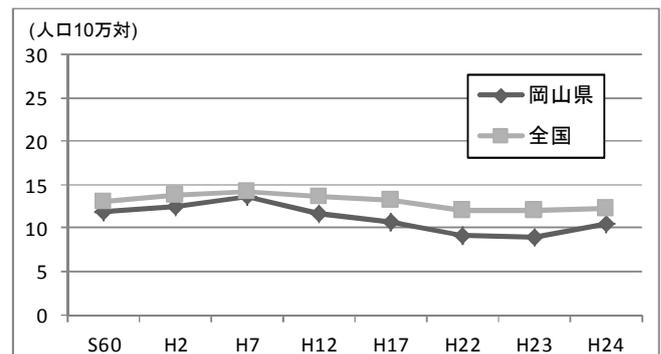


大腸がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

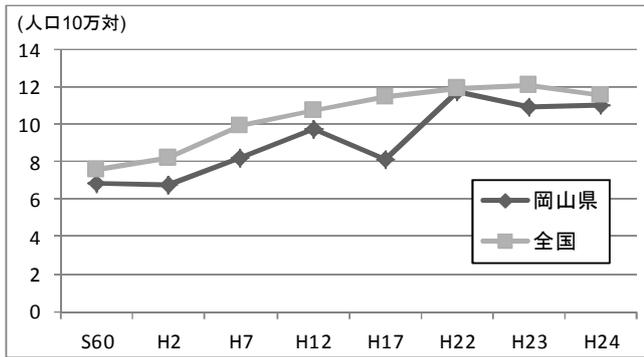


女性

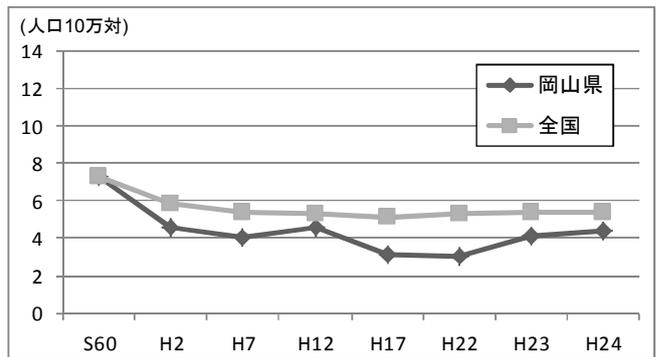


女性のがんの年齢調整死亡率の推移

乳がん

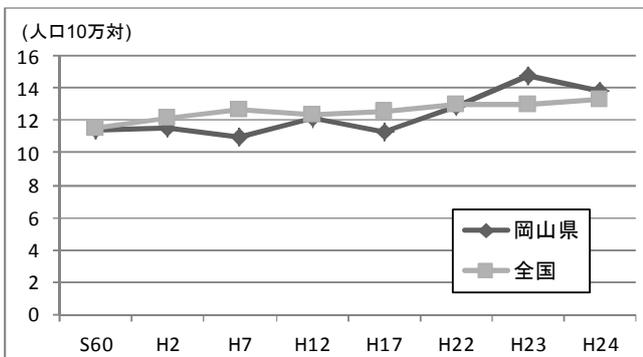


子宮がん

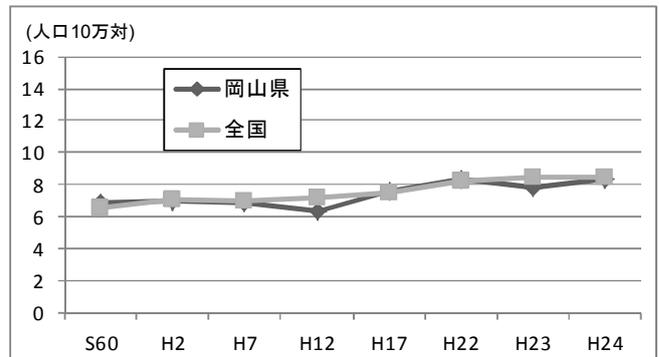


膀胱がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性



女性



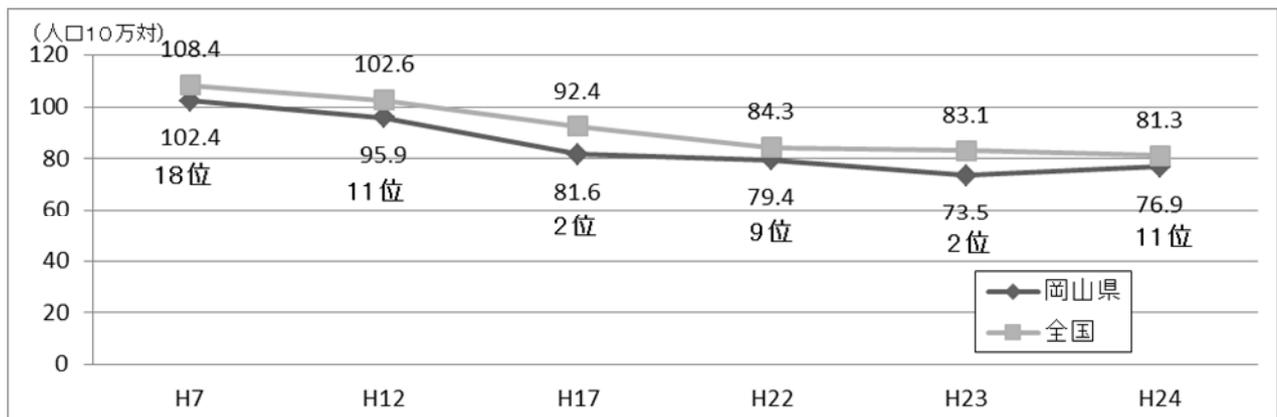
【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

(8) がんの75歳未満年齢調整死亡率

本県のがんの75歳未満年齢調整死亡率の推移を見ると、減少傾向にありましたが、平成24年は、全国より低いものの、前年より上昇し、全国の都道府県順で11位となりました。

また、平成24年について性別で見ると、男性は前年の99.2から99.8に、女性は49.7から56.4に上昇しています。

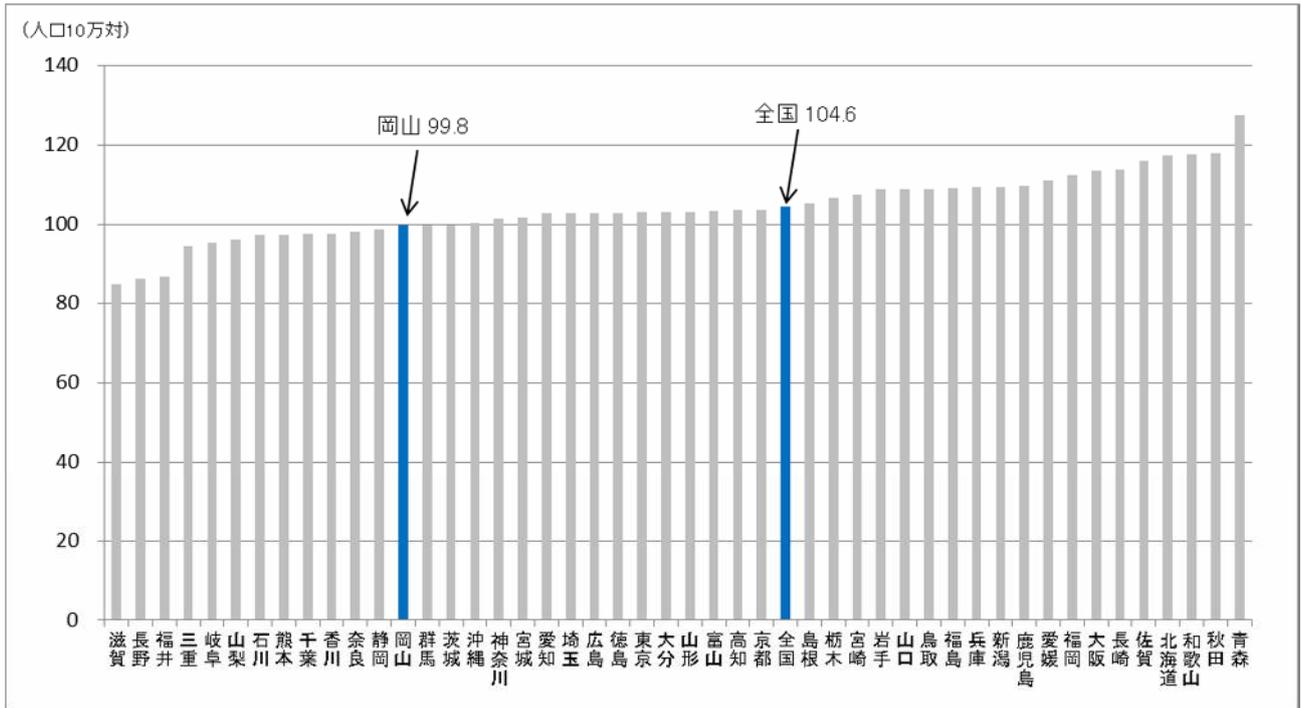
75歳未満年齢調整死亡率の推移



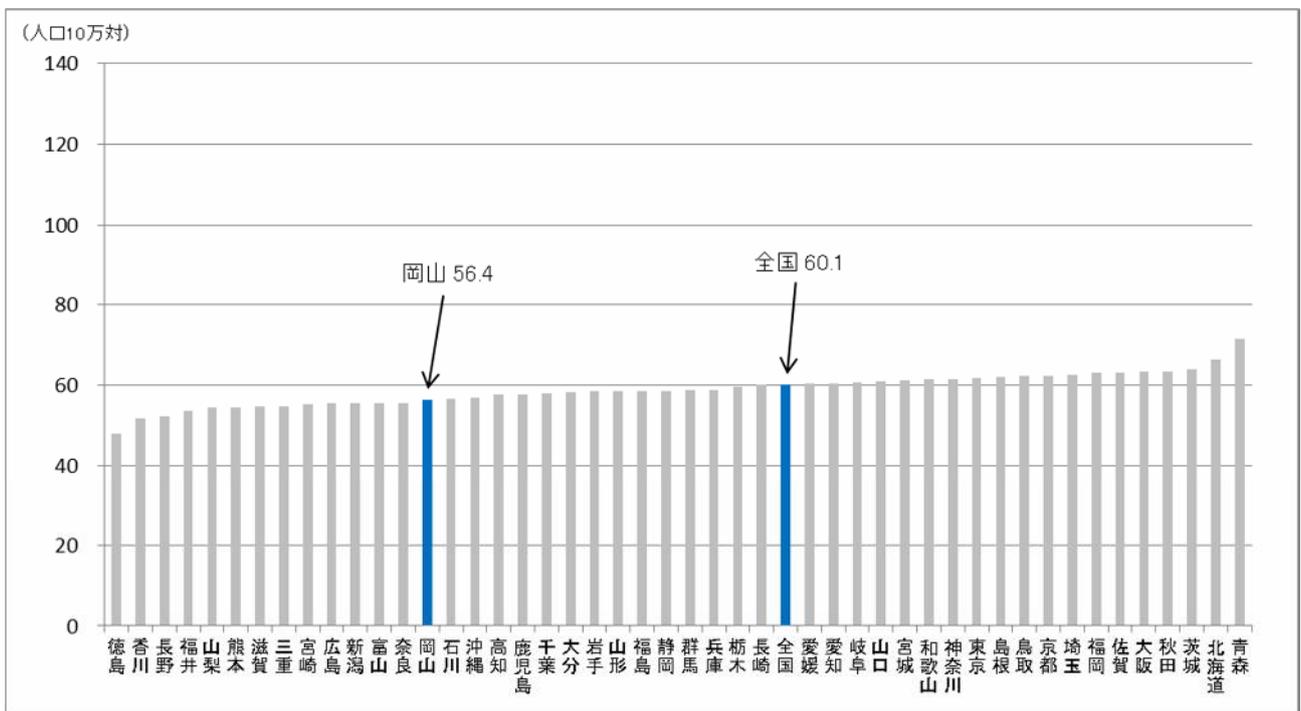
【出典：国立がん研究センターがん対策情報センター】

性別都道府県別 75 歳未満年齢調整死亡率（平成 24 年）

男性



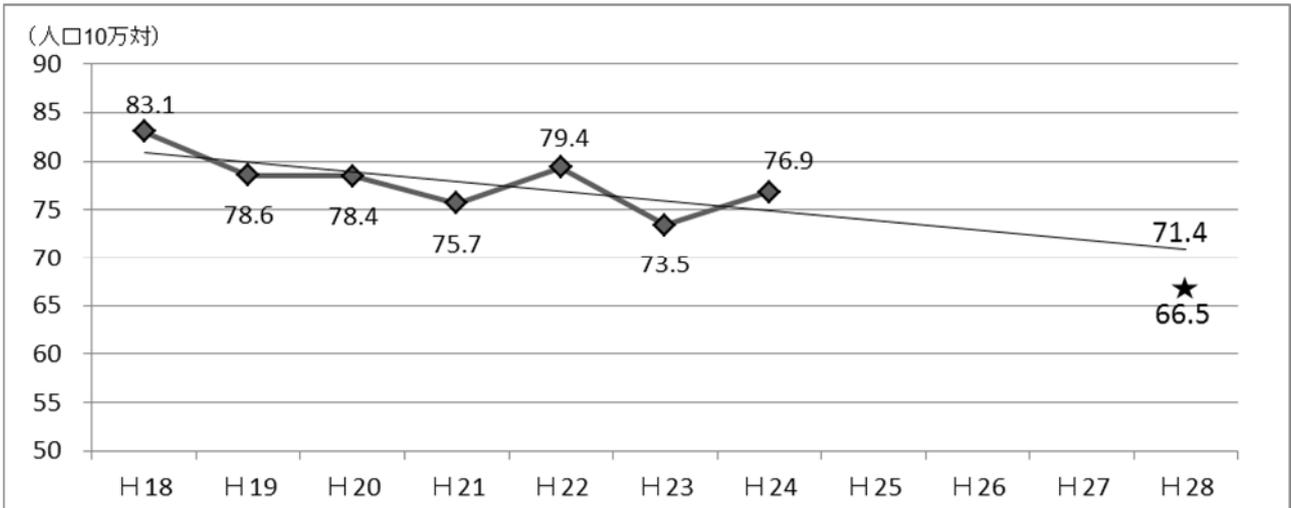
女性



【出典：国立がん研究センターがん対策情報センター】

また、平成 18 年以降の 75 歳未満の年齢調整死亡率の推移から平成 28 年を回帰直線（最小二乗法）により推計すると 71.4 になります。

がんの75歳未満年齢調整死亡率の推移（岡山県）



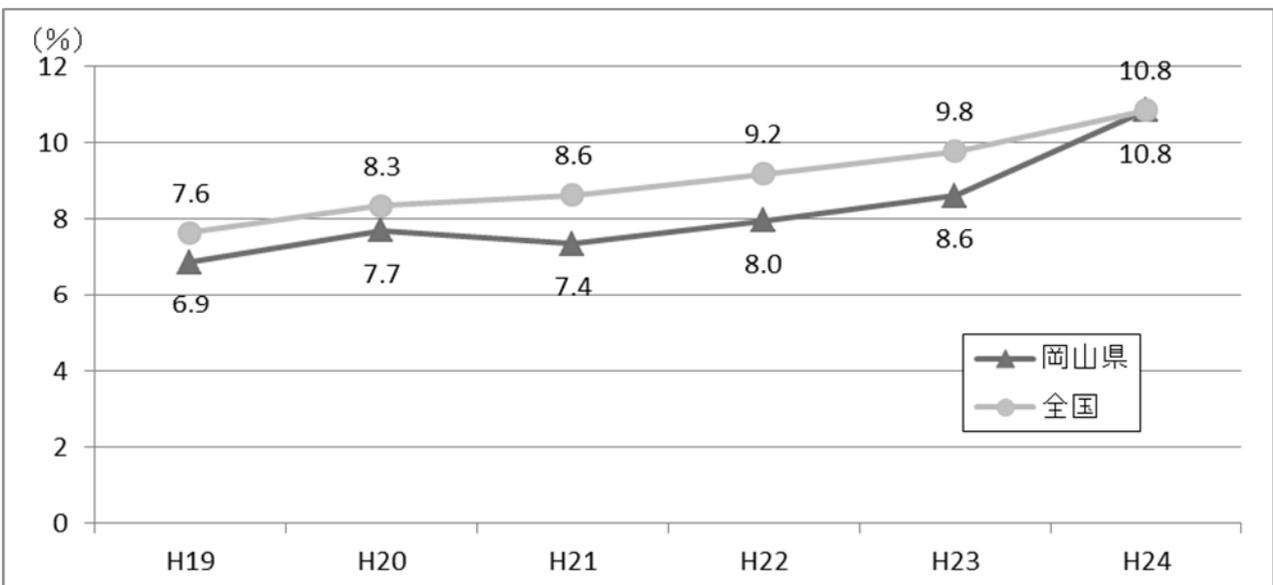
【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

(9) がんによる在宅死亡の状況

本県のがんによる在宅死亡の割合を見ると、全国と同様に上昇傾向にあり、平成24年は、全国と同じ10.8%となっています。

（※ 在宅死亡は、自宅、老人ホーム及び老健施設での死亡の合計）

在宅死亡割合の推移

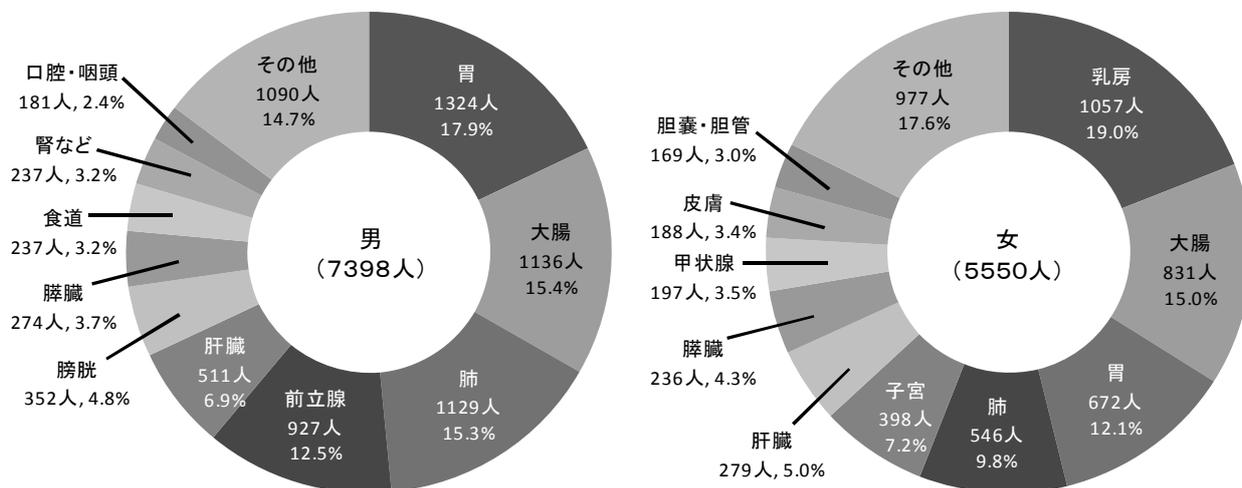


【出典：厚生労働省「人口動態統計」】

(10) がんの罹患数

がんの罹患数を主要 10 部位別に見ると、男性は「胃」が 1,324 人と最も多く、以下、「肺」1,136 人、「大腸」1,129 人の順となっています。また、女性は「乳房」が 1,057 人と最も多く、以下「大腸」831 人、「胃」672 人の順となっています。

主要 10 部位別性別罹患数及び割合（平成 21 年）



【出典：「岡山県におけるがん登録 2009」】

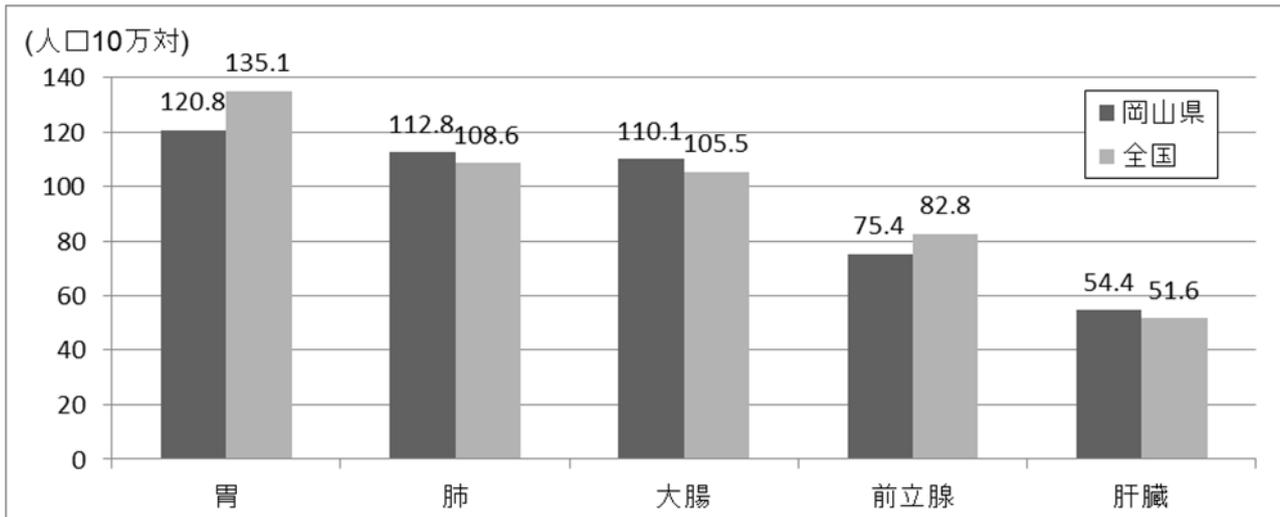
(11) がんの罹患率

本県と全国のがんの主要部位別罹患率を性別に見ると、男性は「胃」「肺」「大腸」「前立腺」「肝臓」の順に高く、中でも「肺」「大腸」「肝臓」は全国よりも高くなっています。女性は「乳房」「大腸」「胃」「肺」「子宮」「肝臓」の順に高く、中でも「乳房」「大腸」「子宮」「肝臓」は全国よりも高くなっています。

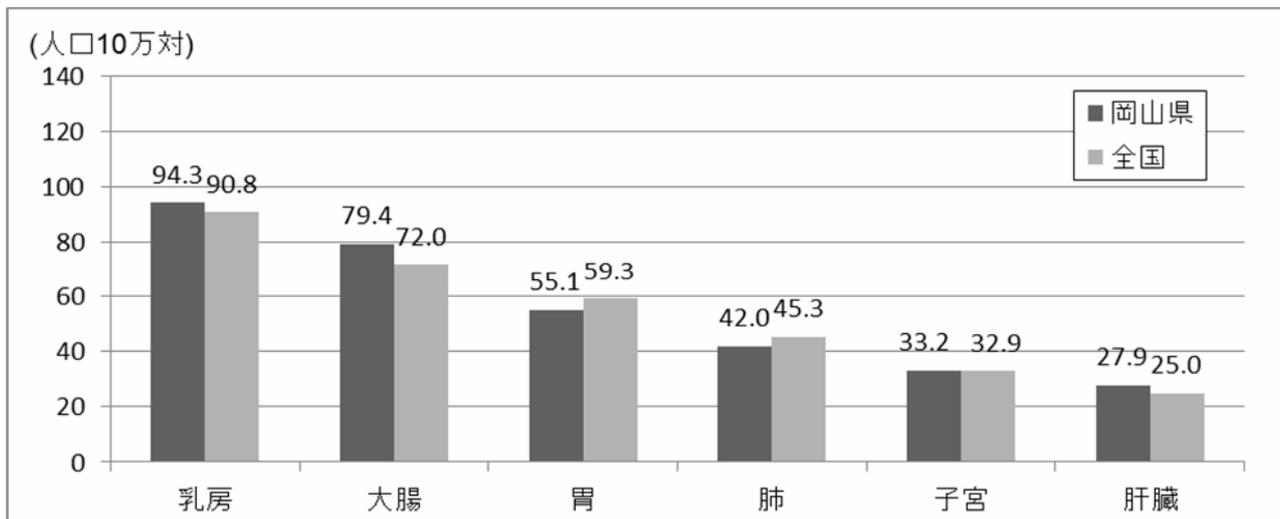
年齢階級別罹患率を性別に見ると、男性はほぼ 80 歳未満までは年齢が高くなるにつれて上昇しています。また、女性では「乳房」は 40 歳代から 60 歳代が高く、「子宮」は比較的若い世代から罹患率が上昇しはじめ、30 歳代が最も高くなっており、他の部位とは異なった傾向が見られます。

(※主要部位別罹患率は全国と比較するため平成 20 年を用いています。)

男性の主要部位別罹患率（平成 20 年）

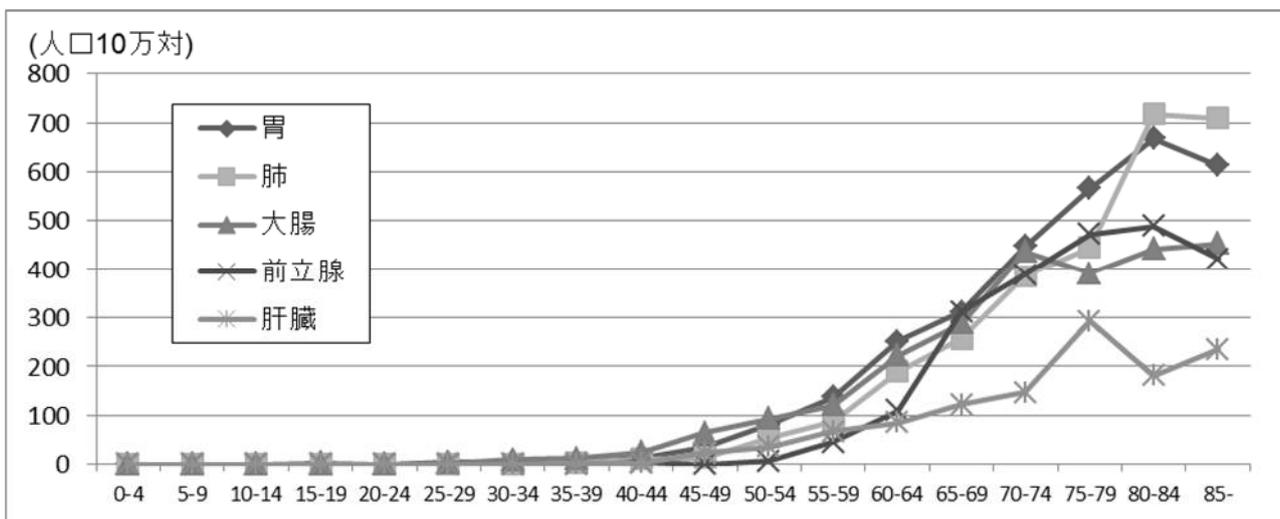


女性の主要部位別罹患率（平成 20 年）

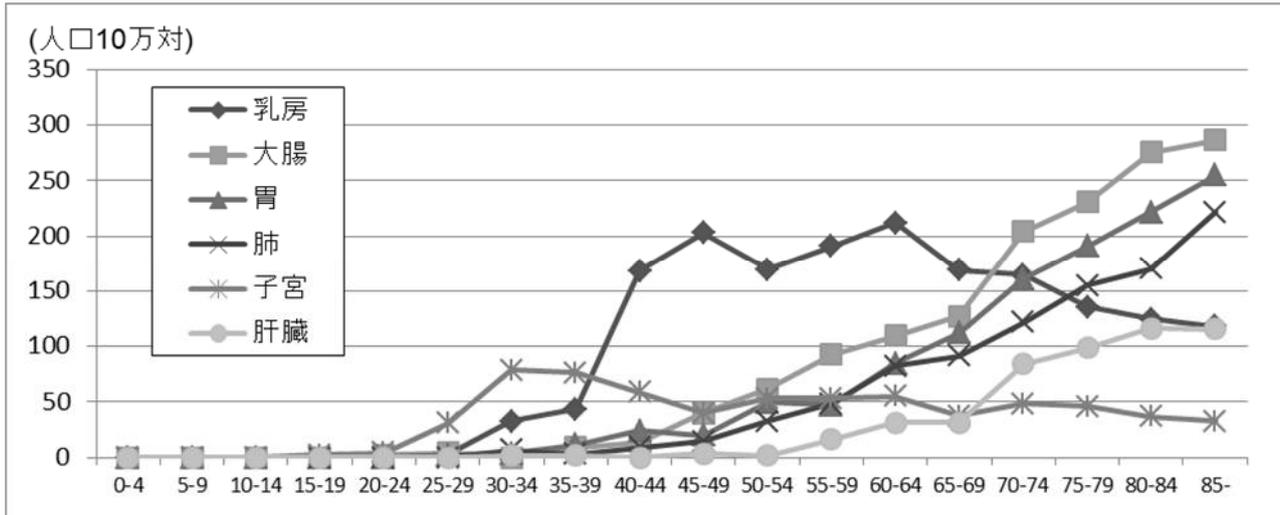


【出典：「岡山県におけるがん登録2008」、国立がん研究センターがん対策情報センター】

男性の年齢階級別罹患率（平成 21 年）



女性の年齢階級別罹患率（平成 21 年）



【出典：「岡山県におけるがん登録 2009」】

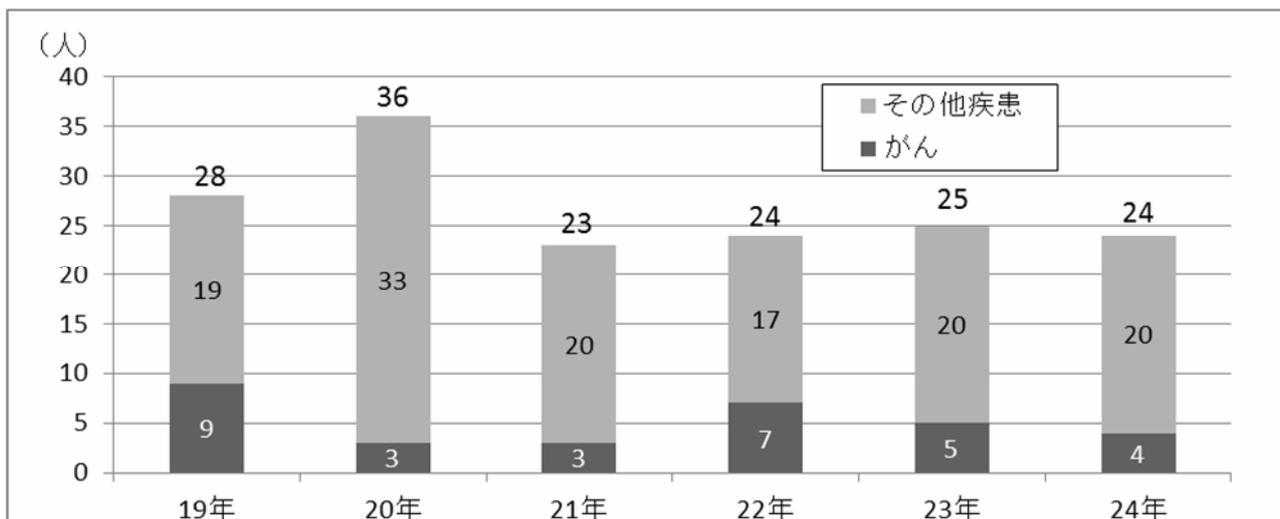
(12) 小児がんの状況

15歳未満のうち疾患による死亡原因（周産期死亡、不慮の事故等を除く）を見ると、がんによる死亡者数は3人～9人で推移しています。

がんの罹患数は平成21年で19人です。また、全がん罹患数に占める小児がんの割合はおよそ0.1%～0.3%です。

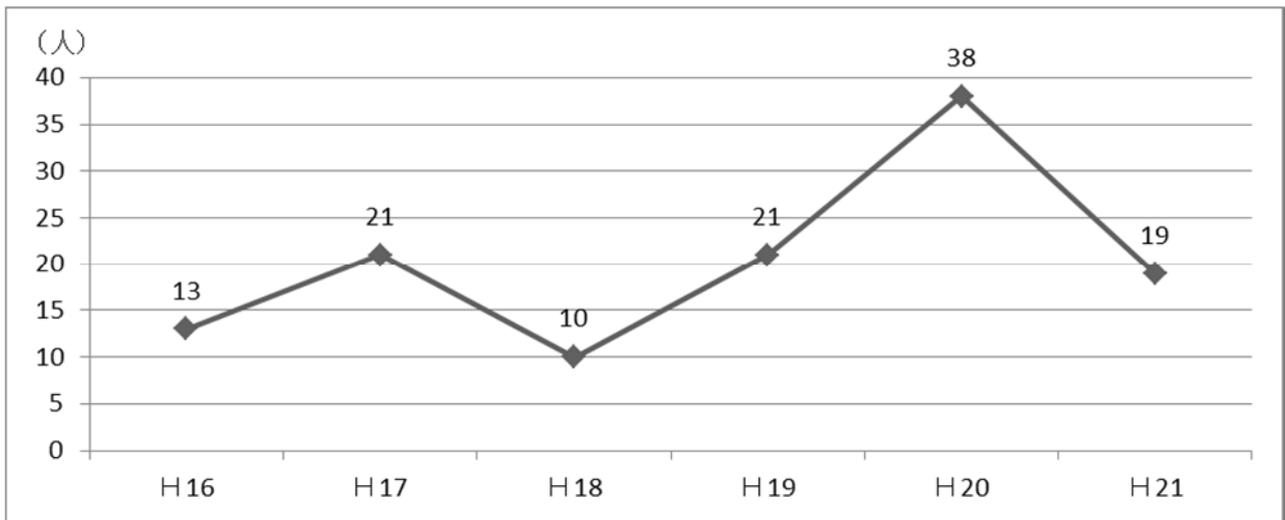
部位別では、平成21年は「白血病」「悪性リンパ腫」は罹患者がなく、「脳・神経系」が5人、「その他の部位」が14人となっています。

病死による死亡者数の推移（15歳未満）（岡山県）



【出典：厚生労働省「人口動態統計」】

小児がん罹患数の推移（15歳未満）



【出典：「岡山県におけるがん登録」】

小児がんの罹患数及び全体に占める割合（15歳未満）

年	全がん罹患数	小児がん罹患数	小児がんの割合
H16	9,812人	13人	0.13%
H17	10,113人	21人	0.21%
H18	9,843人	10人	0.10%
H19	10,936人	21人	0.19%
H20	11,751人	38人	0.32%
H21	12,948人	19人	0.15%

部位別に見た小児がん罹患数（15歳未満）

年	白血病	脳・神経系	悪性リンパ腫	その他	合計
H16	5	3	2	3	13
H17	7	7	1	6	21
H18	4	3	1	2	10
H19	3	4	2	12	21
H20	13	9	1	15	38
H21	0	5	0	14	19

【出典：「岡山県におけるがん登録」】

2 がん医療提供体制の状況

(1) がん治療の提供体制

県内における主ながんの手術の実施状況を見ると、消化器系領域が2,921件と最も多く、次いで乳腺領域で1,185件となっています。また、がん治療の実施施設は県南部に集中しています。

主ながんの手術の実施状況（平成23年度）

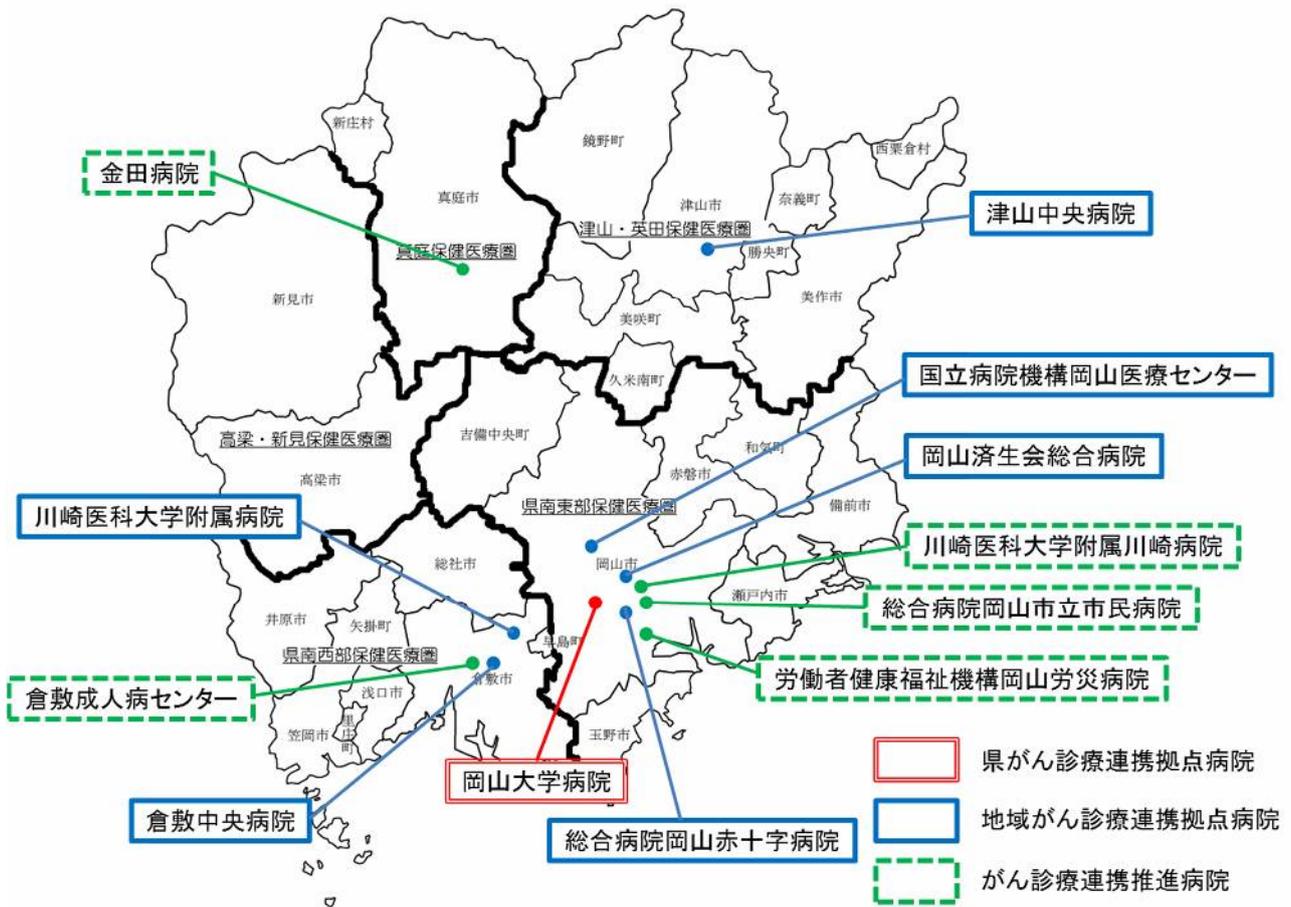
		呼吸器領域		消化器系領域		肝・胆道・膵臓領域		婦人科領域		乳腺領域	
		施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数	施設数	件数
二 次 保 健 医 療 圏	県南東部	17	561	29	1,477	22	472	16	186	22	566
	県南西部	13	344	26	1,145	16	262	5	144	20	561
	高梁・新見	—	—	4	18	—	—	1	0	3	3
	真庭	3	1	4	35	3	0	—	—	5	3
	津山・英田	3	62	4	246	2	47	2	13	3	52
計		36	968	67	2,921	43	781	24	343	53	1,185

がん治療実施施設数（平成23年度）

		緩和ケア領域		放射線治療領域					外来での 化学療法
		医療用麻薬によるがん疼痛治療	がんに伴う精神症状のケア	体外照射	ガンマナイフによる定位置照射	直線加速器による定位放射線治療	密封小線源照射	術中照射	
二 次 保 健 医 療 圏	県南東部	172	56	6	1	3	1	3	65
	県南西部	104	32	3	—	2	2	—	38
	高梁・新見	10	5	—	—	—	—	—	2
	真庭	14	—	—	—	—	—	—	4
	津山・英田	37	11	1	—	—	—	—	11
計		337	104	10	1	5	3	3	120

【出典：平成24年度岡山県医療機能調査】

(2) 県・地域がん診療連携拠点病院及びがん診療連携推進病院の整備状況



二次保健医療圏	県拠点病院	地域拠点病院	推進病院	計
県南東部	1	3	3	7
県南西部		2	1	3
高梁・新見				
真庭			1	1
津山・英田		1		1
合計	1	6	5	12

岡山県の県・地域がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院の体制

県がん診療連携拠点病院

岡山大学病院

【主な役割】

- がん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の構築に関し中心的な役割を担う。
 - ・岡山県がん診療連携協議会の開催
 - ・地域がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院等に対し、情報提供、症例相談、診療支援の実施
 - ・がん医療に携わる専門的な知識、技能を有する医師、薬剤師、看護師等を対象とした研修会の実施

地域がん診療連携拠点病院

岡山済生会総合病院
 総合病院岡山赤十字病院
 国立病院機構岡山医療センター
 倉敷中央病院
 川崎医科大学附属病院
 津山中央病院

【主な役割】

- 二次保健医療圏における専門的ながん診療の提供、地域の医療機関との連携協力体制の構築を担う。
 - ・5大がん及び専門とするがんの集学的治療、緩和ケア、相談支援
 - ・二次保健医療圏の枠を越えた協力体制による診療の均てん化

がん診療連携推進病院

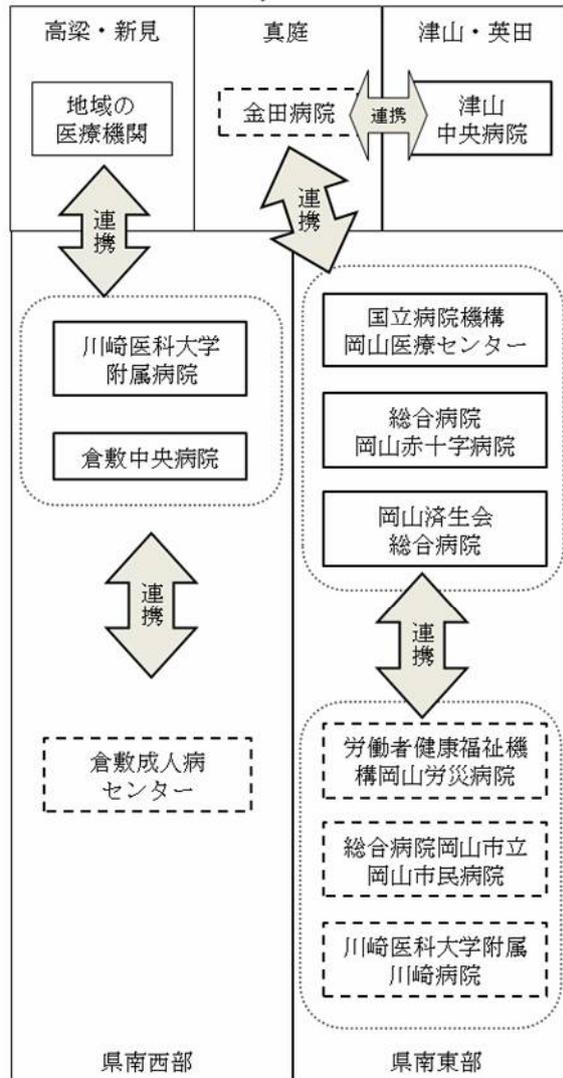
労働者健康福祉機構岡山労災病院
 総合病院岡山市立岡山市民病院
 川崎医科大学附属川崎病院
 倉敷成人病センター
 金田病院

【主な役割】

- がん診療連携拠点病院に準ずる病院として、地域においてがん診療の中核的な役割を担う。
 - ・5大がんのうち診療するがんの集学的治療、緩和ケア、相談支援

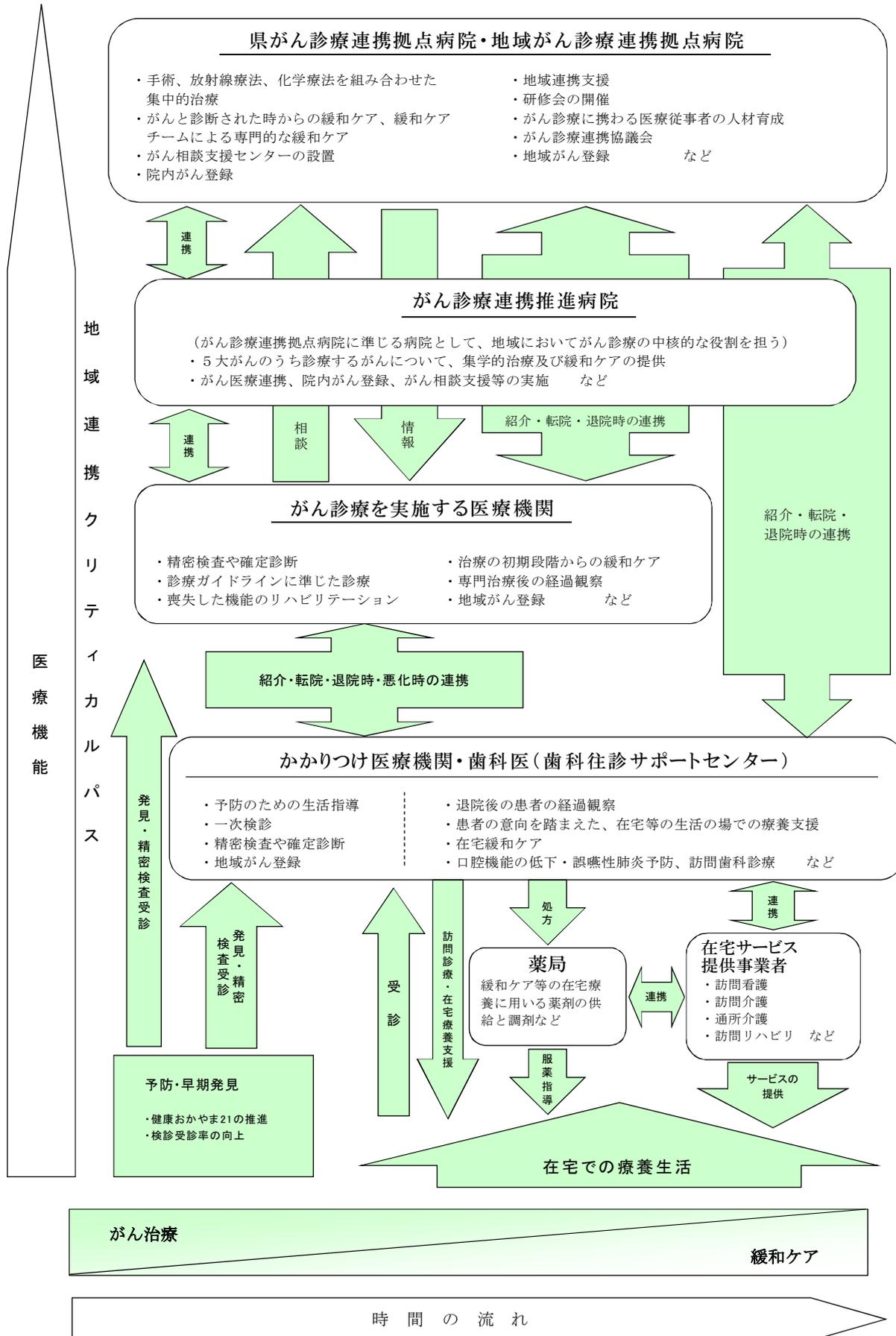
連携

高度ながん医療の提供



(3) 医療機関の連携等

岡山県の目指すがん医療連携体制



3 がんの予防の状況

がんは、生活習慣・生活環境の改善により、予防できるものがあることがわかってきており、リスク要因を減らす方法として「日本人のためのがん予防法」が示されています。

本県では、喫煙問題対策の推進、肝炎対策等の推進、生活習慣の改善に重点を置き、リスク要因を減らす対策に取り組んでいます。

日本人のためのがん予防法

喫煙	たばこは吸わない。他人のたばこの煙をできるだけ避ける。
飲酒	飲むなら、節度のある飲酒をする。
食事	食事は偏らずバランスよくとる。
	* 塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。
	* 野菜や果物不足にならない。
	* 飲食物を熱い状態でとらない。
身体活動	日常生活を活動的に過ごす。
体型	成人期での体重を適正な範囲に維持する。 (太りすぎない、やせすぎない。)
感染	肝炎ウイルス感染の有無を知り、感染している場合はその治療の措置をとる。

(出典：厚生労働科学第3次対がん10か年総合戦略研究事業
「生活習慣改善によるがん予防法の開発に関する研究」)

4 がん検診の状況

がん検診は、がんの早期発見・早期治療のために行われるもので、がん対策として極めて重要です。

昭和 57 年に制定された老人保健法により、市町村の事業として胃がん検診、子宮頸がん検診（以下「子宮がん検診」という。）が開始され、子宮体がん検診、肺がん検診、乳がん検診、大腸がん検診が追加拡充されました。その後、平成 10 年度に、がん検診の財源の地方交付税化に伴い、老人保健法から削除されましたが、平成 20 年度からは、改めて健康増進法に基づく事業として、市町村が実施主体となり、実施されているところです。

がん検診は、国の示す指針により、対象及び検診項目を設定し実施していますが、本県では、乳がん検診について、平成 16 年度に「岡山県乳がん検診指針」を策定し、この指針に基づき検診を実施（以下「岡山方式」という。）しています。

【岡山県乳がん検診指針】

県の指針：30 歳以上を対象、毎年、30 歳代は、問診、視触診、40 歳以上は問診、視触診、乳房 X 線検査を行う。

（国の指針：40 歳以上を対象、2 年に 1 回、問診、視触診、乳房 X 線検査を行う。）

がん検診の概要

		胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
対 象	国	40歳以上	40歳以上	40歳以上	40歳以上	20歳以上
	県				30歳以上	
実施回数	国	1回/年	1回/年	1回/年	1回/2年	1回/2年
	県				1回/年*2	
検診項目	国・県	・問診 ・胃部 X 線	・問診 ・便潜血	・問診 ・胸部 X 線 ・喀痰細胞診 *1	・問診 ・視触診*3 ・乳房 X 線*4	・問診 ・視診 ・子宮頸部細胞診 ・内診

* 1 問診により対象とされた人

* 2 やむを得ない場合は 1 回 / 2 年

* 3 30 歳代：視触診単独検診（岡山方式）

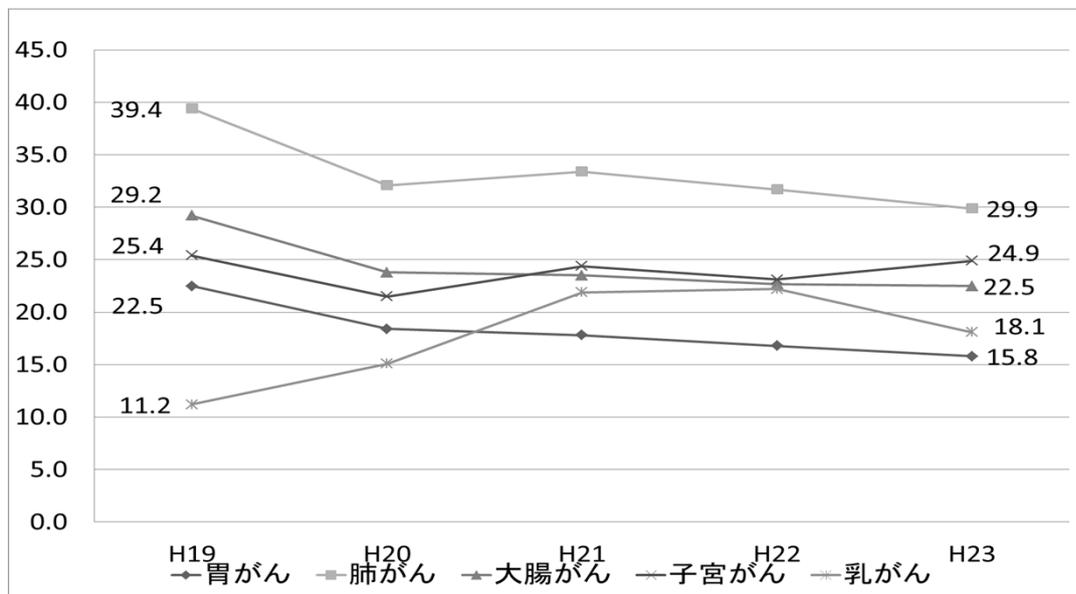
* 4 40 歳以上：視触診及びマンモグラフィ（乳房エックス線検査）併用検診

(1) がん検診の受診率

市町村が実施するがん検診の受診率は、乳がんを除き、全国より高いものの、最も高い肺がんでも、29.9%です。

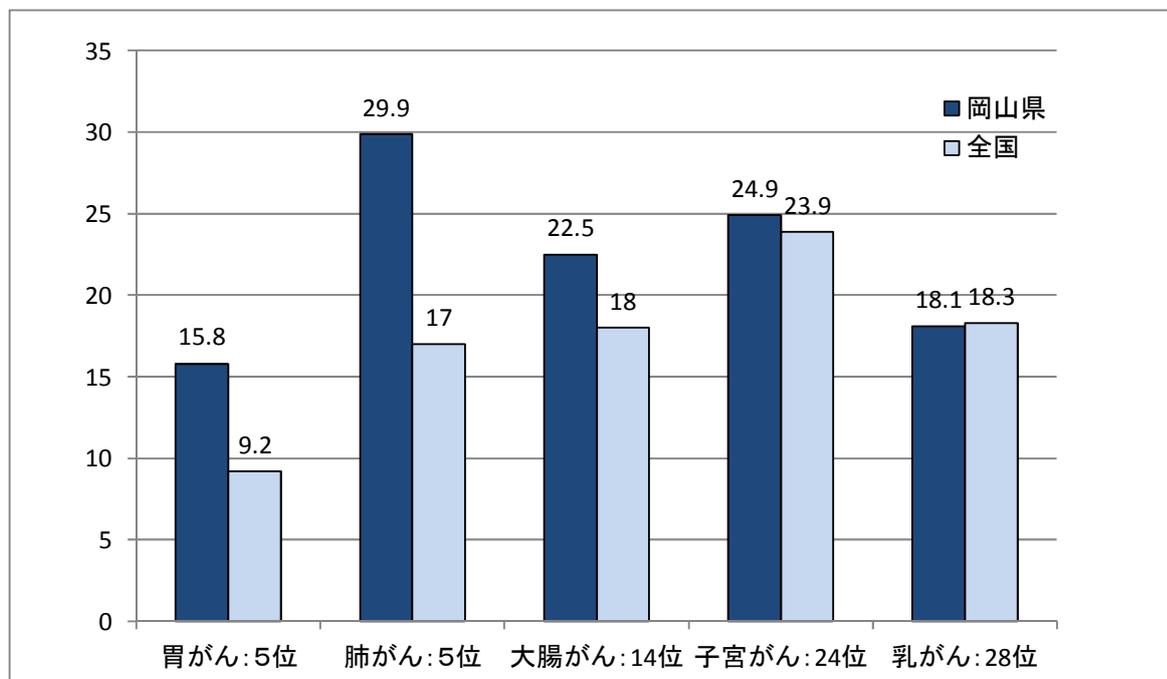
また、受診率は年々低下傾向ですが、子宮がんでは上昇傾向にあります。

市町村が実施するがん検診の受診率(年次推移)



【出典:厚生労働省「地域保健・健康増進報告」】

市町村が実施するがん検診の受診率及び全国との比較



【出典:厚生労働省「平成23年度地域保健・健康増進報告」】

(2) がん検診の質

平成20年3月に厚生労働省が設置した「がん検診事業の評価に関する委員会」が「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の報告書をまとめ、精度管理の指針を示しています。

この中では、精検受診率^{注2}、要精検率^{注3}、がん発見率^{注1}、陽性反応適中度^{注4}等を、がん検診の質を評価するための重要な精度管理指標としており、それぞれの指標に最低限の基準である「許容値^{注5}」を示しています。

本県のがん検診は、国が提示する許容値と比較してみると、胃がん検診のがん発見率、大腸がん、子宮がん検診の精検受診率など、一部許容値を満たしていない値もありますが、おおむね精度の高い適正な検診が行われていると判断できます。

がん検診精度管理指標の許容値と岡山県の比較

H22岡山	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん		乳がん	
	岡山県	許容値	岡山県	許容値	岡山県	許容値	岡山県	許容値	岡山県	許容値
要精検率	7.0	11.0%以下	2.5	3.0%以下	6.7	7.0%以下	1.3	1.4%以下	7.0	11.0%以下
精検受診率	79.9	70%以上	73.8	70%以上	<u>68.4</u>	70%以上	<u>65.5</u>	70%以上	81.8	80%以上
がん発見率	<u>0.10</u>	0.11%以上	0.03	0.03%以上	0.15	0.13%以上	0.06	0.05%以上	<u>0.21</u>	0.23%以上
陽性反応適中度	1.5	1.0%以上	1.4	1.3%以上	2.2	1.9%以上	5.1	4.0%以上	3.0	2.5%以上

【出典：厚生労働省「平成23年度地域保健・健康増進報告」】

【各指標の計算方法】

対象年齢は、40歳～74歳まで(子宮がんのみ20歳～74歳まで)としている。

注1：がん発見率＝がんであった人／受診者数×100

注2：精検受診率＝精密検査受診者数／要精密検査者数×100

注3：要精検率＝要精密検査者数／受診者数×100

注4：陽性反応適中度＝がんであった人／要精密検査者数×100

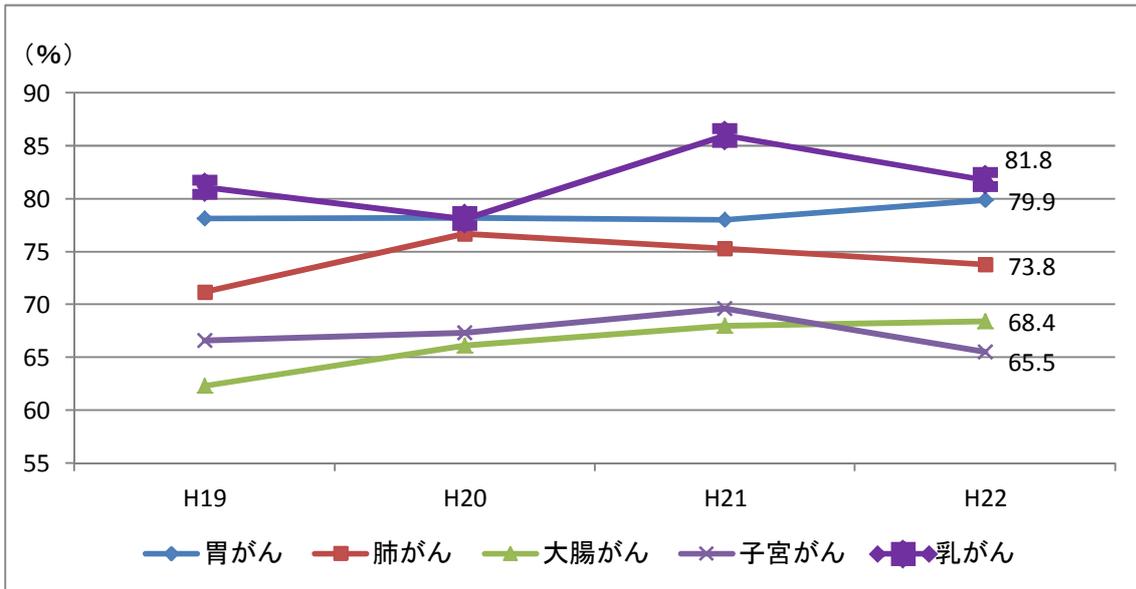
注5：許容値＝がん検診を適正に実施する上で基本的な要件である値

○精検受診率

市町村が実施するがん検診の精検受診率は、全国に比べ、大腸がん、子宮がんが高くなっています。

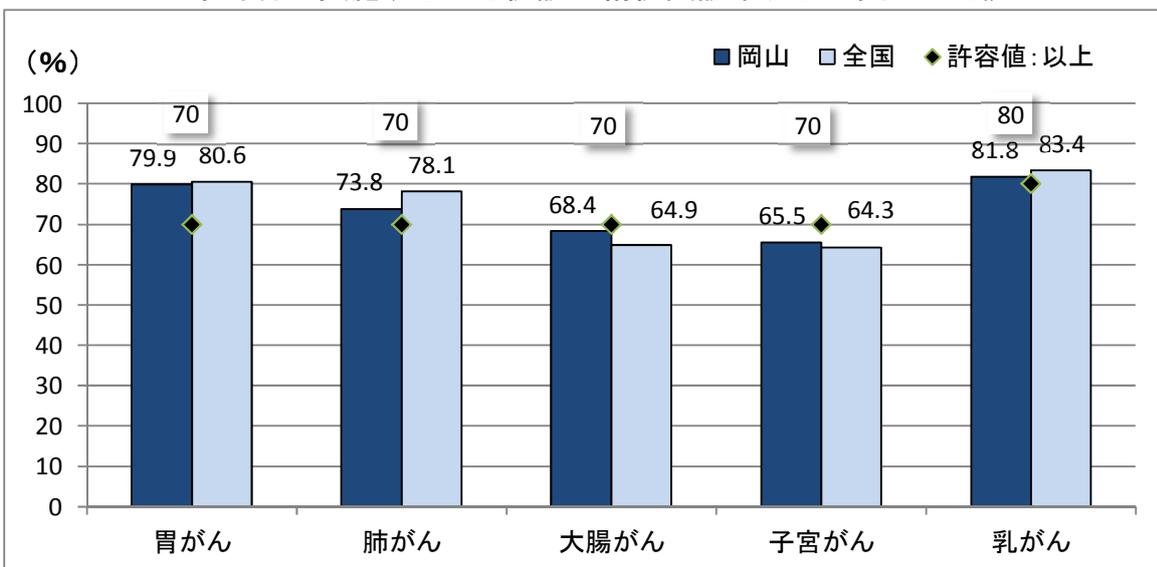
国が示す許容値と比べると大腸がん、子宮がんでは許容値に満たない状況です。

市町村が実施するがん検診の精検受診率(年次推移)



【出典:厚生労働省「地域保健・健康増進報告」】

市町村が実施するがん検診の精検受診率及び全国との比較



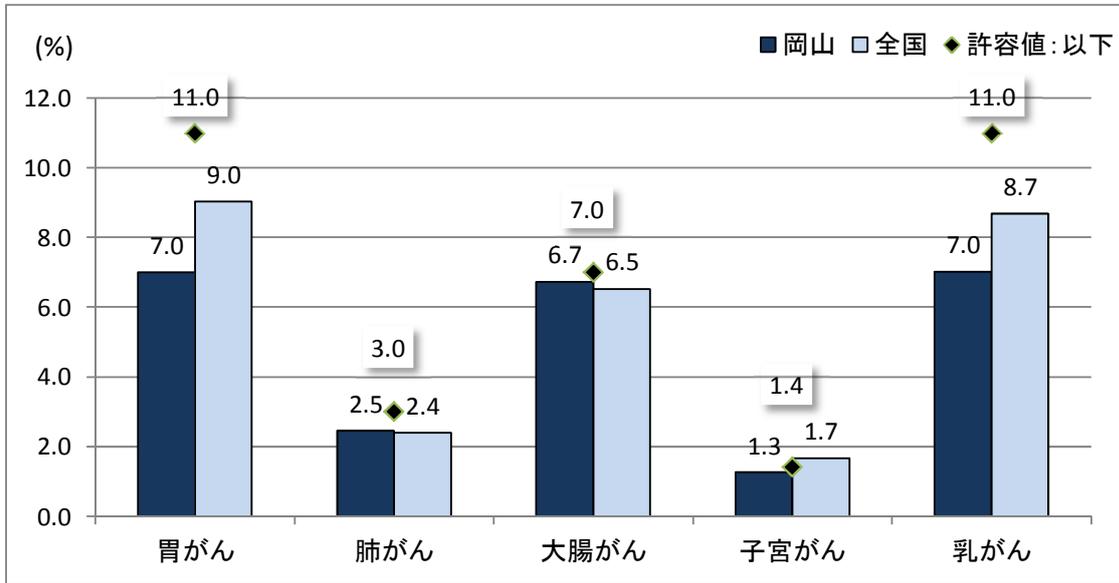
【出典:厚生労働省「平成23年度地域保健・健康増進報告」】

○要精検率

市町村が実施するがん検診の要精検率は、肺がん、大腸がんを除き、全国より低い率となっています。

また、すべての検診で許容値を満たしています。

市町村が実施するがん検診の要精検率及び全国との比較

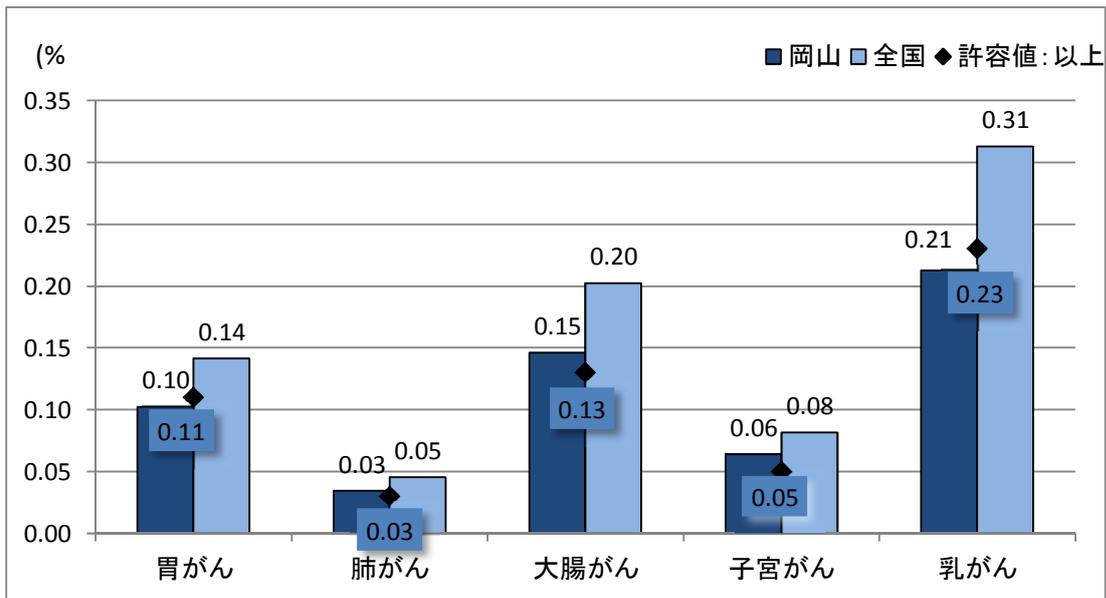


【出典:厚生労働省「平成23年度地域保健・健康増進報告」】

○がん発見率

市町村が実施するがん検診のがん発見率は、全ての検診で全国より低い率となっていますが、肺がんと乳がんを除き、許容値を満たしています。

市町村が実施するがん検診のがん発見率及び全国との比較

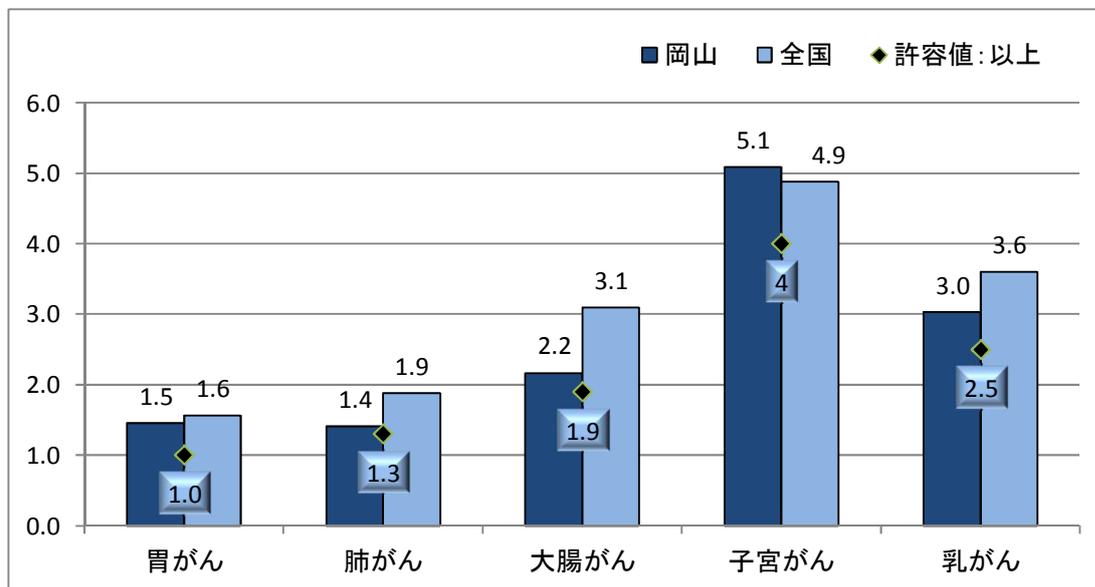


【出典:厚生労働省「平成23年度地域保健・健康増進報告」】

○陽性反応適中度

市町村が実施するがん検診の陽性反応適中度は、子宮がんを除き、全ての検診で全国より低い率となっていますが、全てのがん検診で許容値を満たしています。

市町村が実施するがん検診の陽性反応適中度及び全国との比較



【出典：厚生労働省「平成23年度地域保健・健康増進報告」】

1 がんの死亡・罹患の状況

(1) がんによる死亡者数の推移

○主な死因による死亡者数の推移

(単位:人)

	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H20	H21	H22	H23	H24
悪性新生物	2,278	2,580	3,006	3,328	3,680	4,380	4,778	4,957	5,244	5,298	5,518	5,400	5,616
心疾患	1,680	1,896	2,412	2,613	3,016	2,404	2,452	2,892	3,049	2,850	3,121	3,210	3,322
脳血管疾患	3,662	3,606	3,214	2,728	2,355	2,711	2,385	2,421	2,279	2,138	2,142	2,063	2,057
肺炎	550	694	820	1,107	1,548	1,620	1,822	2,044	2,268	2,231	2,281	2,475	2,489
その他	5,705	5,089	4,567	4,582	4,744	5,428	5,470	6,114	6,553	6,431	7,186	7,259	7,697
死亡者数計	13,875	13,865	14,019	14,358	15,343	16,543	16,907	18,428	19,393	18,948	20,248	20,407	21,181

【出典：厚生労働省「平成24年人口動態統計」】

(4) がんの年齢階級別（5歳階級）死亡者の状況

○がんによる年齢階級別死亡者数（平成24年・岡山県）

(単位:人)

	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
総数	3	1	0	0	0	4	11	28	35	60	110
男	2	1	0	0	0	2	4	10	12	20	57
女	1	0	0	0	0	2	7	18	23	40	53

	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
総数	231	460	574	691	944	1062	805	409	159	29	5,616
男	147	316	398	461	637	666	427	162	47	6	3,375
女	84	144	176	230	307	396	378	247	112	23	2,241

【出典：厚生労働省「平成24年人口動態統計」】

○主な疾患等による年齢階級別死亡者の割合（平成24年・岡山県）

男性

(単位:人)

	総数	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
悪性新生物	3,375	2	1	0	0	0	2	4	10	12	20
心疾患	1,440	1	0	0	1	3	2	2	16	16	19
脳血管疾患	936	0	0	0	0	0	1	1	2	4	12
肺炎	1,241	0	1	0	0	0	1	0	1	1	4
その他	3,669	25	1	5	11	24	30	24	36	63	57
計	10,661	28	3	5	12	27	36	31	65	96	112

	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
悪性新生物	57	147	316	398	461	637	666	427	162	47	6
心疾患	31	42	104	119	97	215	277	272	157	49	17
脳血管疾患	11	26	45	66	85	136	209	199	98	39	2
肺炎	6	7	24	38	74	164	304	313	202	87	14
その他	80	107	198	223	301	487	696	707	398	163	33
計	185	329	687	844	1,018	1,639	2,152	1,918	1,017	385	72

女性

(単位:人)

	総数	00～04歳	05～09歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
悪性新生物	2,241	1	0	0	0	0	2	7	18	23	40
心疾患	1,882	0	1	0	2	0	0	2	4	2	1
脳血管疾患	1,121	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5
肺炎	1,248	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
その他	4,028	16	1	1	1	5	7	10	16	18	13
計	10,520	19	2	1	3	6	9	20	41	45	59

	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～
悪性新生物	53	84	144	176	230	307	396	378	247	112	23
心疾患	1	11	31	39	76	169	278	453	471	284	57
脳血管疾患	9	13	23	18	42	112	171	257	257	172	37
肺炎	3	2	10	13	38	70	166	314	354	214	60
その他	27	42	79	115	131	303	588	854	948	629	224
計	93	152	287	361	517	961	1,599	2,256	2,277	1,411	401

【出典：厚生労働省「平成24年人口動態統計」】

(5) がんの死亡率の推移

○性別死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
粗死亡率(岡山県)	213.2	238.6	277.7	306.8	322.8	352.6	352.1	366.4
粗死亡率(全国)	187.4	216.4	262.0	291.3	319.1	343.4	346.9	350.8
年齢調整死亡率(岡山県)	201.1	198.6	206.9	198.2	179.0	172.2	166.3	167.4
年齢調整死亡率(全国)	214.8	215.6	226.1	214.0	197.7	182.4	179.4	175.7

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
粗死亡率(岡山県)	137.1	148.7	178.2	190.9	192.8	225.3	215.1	224.5
粗死亡率(全国)	125.9	139.3	163.1	181.4	200.3	219.2	222.7	225.7
年齢調整死亡率(岡山県)	103.7	97.8	102.1	96.9	82.8	84.8	77.5	83.3
年齢調整死亡率(全国)	113.1	107.7	108.3	103.5	97.3	92.2	91.8	90.3

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

(7) がんの性別・部位別年齢調整死亡率

○全がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	201.1	198.6	206.9	198.2	179.0	172.2	166.3	167.4
全国	214.8	215.6	226.1	214.0	197.7	182.4	179.4	175.7

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	103.7	97.8	102.1	96.9	82.8	84.8	77.5	83.3
全国	113.1	107.7	108.3	103.5	97.3	92.2	91.8	90.3

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○肺がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	43.2	42.2	44.9	44.7	42.1	41.9	40.5	41.3
全国	41.2	45.0	47.5	46.3	44.6	42.4	41.7	41.0

女性

(人口10万対)

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	11.1	9.8	12.4	10.6	10.1	10.9	8.3	9.8
全国	11.2	11.6	12.5	12.3	11.7	11.5	11.4	11.4

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○胃がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	48.5	43.1	41.4	32.0	27.6	25.5	23.5	24.4
全 国	58.7	49.5	45.4	39.1	32.7	28.2	27.4	26.1

女性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	24.8	20.1	17.6	16.3	10.6	9.2	9.2	10.0
全 国	27.4	21.6	18.5	15.3	12.5	10.2	9.9	9.6

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○肝臓がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	27.7	30.9	36.2	29.2	25.1	20.4	18.6	17.3
全 国	25.7	28.4	31.6	28.2	23.7	19.0	18.0	16.7

女性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	6.4	7.2	11.6	7.9	8.2	6.9	7.0	5.8
全 国	7.5	7.8	9.1	8.8	7.7	6.4	6.0	5.6

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○大腸がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	17.3	17.9	18.2	20.5	18.1	18.4	17.5	17.1
全 国	19.6	21.9	24.4	23.7	22.4	21.0	21.4	21.4

女性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	11.9	12.5	13.6	11.7	10.6	9.2	8.9	10.5
全 国	13.0	13.8	14.1	13.6	13.2	12.1	12.1	12.3

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○女性のがんの年齢調整死亡率の推移

男性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	6.8	6.7	8.2	9.7	8.1	11.7	10.9	11.0
全 国	7.6	8.2	9.9	10.7	11.4	11.9	12.1	11.5

女性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	7.3	4.6	4.0	4.6	3.1	3.0	4.1	4.4
全 国	7.3	5.8	5.4	5.3	5.1	5.3	5.4	5.4

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

○膵臓がんの性別年齢調整死亡率の推移

男性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	11.4	11.5	11.0	12.1	11.3	12.9	14.8	13.8
全 国	11.5	12.1	12.7	12.4	12.6	13.0	13.0	13.3

女性		(人口10万対)						
	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H23	H24
岡山県	6.8	7.0	6.8	6.3	7.6	8.3	7.8	8.3
全 国	6.5	7.1	7.0	7.2	7.5	8.2	8.4	8.4

【出典：厚生労働省「人口動態統計」、岡山県推計】

(8) がんの75歳未満年齢調整死亡率

○性別都道府県別75歳未満年齢調整死亡率（平成24年）

男性		(人口10万対)							
滋 賀	84.8	奈 良	98.2	広 島	102.7	栃 木	106.6	福 岡	112.5
長 野	86.2	静 岡	98.6	徳 島	102.8	宮 崎	107.5	大 阪	113.6
福 井	86.7	岡 山	99.8	東 京	103.0	岩 手	108.8	長 崎	113.7
三 重	94.3	群 馬	99.8	大 分	103.1	山 口	108.9	佐 賀	116.1
岐 阜	95.1	茨 城	99.8	山 形	103.2	鳥 取	108.9	北 海 道	117.5
山 梨	96.0	沖 縄	100.2	富 山	103.5	福 島	109.2	和 歌 山	117.5
石 川	97.4	神 奈 川	101.3	高 知	103.6	兵 庫	109.3	秋 田	117.9
熊 本	97.4	宮 城	101.7	京 都	103.7	新 潟	109.5	青 森	127.6
千 葉	97.7	愛 知	102.7	全 国	104.6	鹿 児 島	109.7		
香 川	97.7	埼 玉	102.7	島 根	105.2	愛 媛	111.1		

女性

(人口10万対)

徳島	47.8	新潟	55.3	岩手	58.5	愛知	60.4	埼玉	62.6
香川	51.7	富山	55.5	山形	58.5	岐阜	60.6	福岡	63.0
長野	52.2	奈良	55.5	福島	58.5	山口	60.7	佐賀	63.1
福井	53.6	岡山	56.4	静岡	58.5	宮城	61.2	大阪	63.2
山梨	54.3	石川	56.6	群馬	58.6	和歌山	61.4	秋田	63.3
熊本	54.3	沖縄	56.9	兵庫	58.6	神奈川	61.4	茨城	63.7
滋賀	54.6	高知	57.5	栃木	59.5	東京	61.8	北海道	66.4
三重	54.6	鹿児島	57.7	長崎	60.1	島根	61.8	青森	71.3
宮崎	55.3	千葉	57.8	全国	60.1	鳥取	62.2		
広島	55.3	大分	58.1	愛媛	60.3	京都	62.3		

【出典：国立がん研究センターがん対策情報センター】

(11) がんの罹患率

○男性の年齢階級別罹患率（平成21年）

(人口10万対)

	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44
胃	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	3.8	4.9	4.4	12.4
肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	10.6
大腸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	9.9	11.6	24.8
前立腺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5
肝臓	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.8

	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
胃	35.6	80.8	137.4	251.0	312.0	447.6	565.8	667.7	613.6
肺	13.1	54.4	87.6	189.3	256.5	386.5	445.2	718.0	709.6
大腸	63.8	93.1	120.8	222.2	289.1	437.4	391.9	442.9	453.5
前立腺	0.0	7.0	45.3	109.7	312.0	388.6	473.0	489.9	421.5
肝臓	22.5	35.1	66.5	85.1	122.5	146.5	292.2	181.2	234.8

【出典：「岡山県におけるがん登録2009」】

○女性の年齢階級別罹患率（平成21年）

(人口10万対)

	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44
乳房	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	32.8	43.3	168.2
大腸	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.8	0.0	8.7	13.7
胃	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.3	11.5	24.0
肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	2.9	8.6
子宮	0.0	0.0	0.0	2.2	3.9	30.6	78.7	76.4	58.4
肝臓	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.4	0.0

	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
乳房	202.6	169.4	190.9	211.6	169.0	164.6	135.8	124.8	117.8
大腸	39.8	61.6	92.7	109.7	127.1	204.2	230.9	275.4	286.6
胃	19.9	49.6	47.0	84.9	112.1	161.2	190.4	221.6	255.1
肺	14.5	32.5	48.5	82.3	91.2	121.8	155.1	170.0	221.8
子宮	39.8	53.0	52.9	54.9	37.4	48.0	45.8	36.6	32.4
肝臓	3.6	1.7	16.2	31.3	31.4	84.0	98.7	116.2	115.8

【出典：「岡山県におけるがん登録2009」】

4 がん検診の状況

(1) がん検診の受診率

○市町村が実施するがん検診の受診率（年次推移）

(%)

	H19	H20	H21	H22	H23
胃がん	22.5	18.4	17.8	16.8	15.8
肺がん	39.4	32.1	33.4	31.7	29.9
大腸がん	29.2	23.8	23.5	22.7	22.5
子宮がん	25.4	21.5	24.4	23.1	24.9
乳がん	11.2	15.1	21.9	22.2	18.1

(2) がん検診の質

○市町村が実施するがん検診の精検受診率（年次推移）

(%)

	H19	H20	H21	H22
胃がん	78.1	78.2	78.0	79.9
肺がん	71.2	76.7	75.3	73.8
大腸がん	62.3	66.1	68.0	68.4
子宮がん	66.6	67.3	69.6	65.5
乳がん	81.1	78.1	86.0	81.8